

資料編

資料編

資料1 第2期石巻市食育推進計画策定の経過

会議名等 実施年月日	主な内容
石巻市民健康調査等 平成24年11月～ 平成25年2月	<ul style="list-style-type: none"> 石巻市民健康調査 石巻市民健康調査（母子保健アンケート） 石巻市（食育）アンケート調査
第2回石巻市食育推進会議 平成25年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期食育推進計画策定について 策定スケジュールについて
第1回食育推進会議事務局会議 平成25年5月8日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期食育推進計画策定スケジュールについて 石巻市の現状と課題について 第2期食育推進計画のコンセプト、内容について
第1回食育推進庁内検討部会 ワーキングチーム会議 平成25年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期食育推進計画策定について 「石巻市の現状」及び「アンケート結果から見る石巻市の現状」について 第2期食育推進計画の重点項目について
第1回石巻市食育推進会議 平成25年7月11日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期食育推進計画策定について 「石巻市の現状」及び「アンケート結果から見る石巻市の現状」について 第2期食育推進計画の内容について
第2回食育推進会議事務局会議 平成25年9月2日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期食育推進計画策定スケジュールについて 石巻市の現状と課題について 第2期食育推進計画のコンセプト、内容について
第2回食育推進庁内検討部会 ワーキングチーム会議 平成25年10月25日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期食育推進計画（素案）検討
第2回石巻市食育推進会議 平成25年11月8日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期食育推進計画（素案）協議（産業部追加提案含む） その他
パブリックコメントの実施 平成26年1月6日～24日	第2期食育推進計画（案）の意見募集 （3人から6件の意見）
第3回食育推進庁内検討部会 ワーキングチーム会議 平成26年1月28日	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント実施結果について 第2期食育推進計画（原案）検討
第3回石巻市食育推進会議 平成26年2月12日	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント実施結果について 第2期食育推進計画（原案）協議（平成25年度食育情報交換会実施）

資料2 石巻市食育推進会議条例

平成20年3月26日条例第7号

石巻市食育推進会議条例

(設置)

第1条 食育基本法(平成17年法律第63号。以下「法」という。)第33条第1項の規定に基づき、石巻市食育推進会議(以下「推進会議」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 石巻市食育推進計画(法第18条第1項に規定する市町村食育推進計画をいう。)を作成し、その実施を推進すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、食育の推進に関して、重要事項を審議し、及び施策の実施を推進すること。

(組織)

第3条 推進会議は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 食育の推進に関係する団体に所属する者
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 推進会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

附 則

(施行月日)

- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(最初の会議の招集)

- 2 委員が委嘱された後、最初に招集すべき会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

資料3 石巻市食育推進会議委員名簿

No.	食育推進会議条例第3条		団体名	備考
1	学職経験を有する者	須能 邦雄	宮城県産業振興審議会委員	会長
2		阿部 知顕	石巻専修大学	副会長
3	食育の推進に関する 団体	三浦 良子	石巻市食生活改善推進員連絡 協議会	
4		渡辺 ひろ子	JA いしのまき女性部	～平成 25 年 3 月
		千葉 洋子		平成 25 年 5 月～
5		安倍 広美	JA いしのまき	
6		渥美 武義	宮城県漁業協同組合	～平成 25 年 3 月
		江刺 みゆき		平成 25 年 4 月～
7		鯉渕 豊太郎	イオンリテール株式会社 イオン石巻店	～平成 25 年 6 月
		岡風呂 秀樹		平成 25 年 7 月～
8	高橋 よしみ	石巻地域生活研究グループ 連絡協議会		
9	学校・保育所等	梅津 可奈子	石巻市立小中学校校長会	
10		阿部 直子	石巻市立小中学校校長会	～平成 25 年 3 月
		相澤 祐太		平成 25 年 5 月～
11		佐藤 俊子	私立保育所代表	
12		内海 恵子	石巻市立保育所連合会	
13		四倉 ひろみ	石巻私立幼稚園長会	
14		増子 裕子	石巻市立幼稚園園長会	～平成 25 年 3 月
		三浦 敬子		平成 25 年 5 月～
15	関係行政機関	伊藤 修一	東北農政局大崎地域センター	～平成 25 年 9 月
		大類 貢		平成 25 年 10 月～
		渡部 順子	宮城県東部保健福祉事務所	
		水野 正昭	石巻市健康部	
		阿部 正博	石巻市産業部	
19	佐藤 和夫	石巻市教育委員会		

任期：平成 24 年 6 月 1 日から平成 26 年 5 月 31 日まで

資料4 石巻市食育推進庁内検討会議設置要綱

平成20年3月26日訓令第14号

改正

平成22年3月31日訓令第14号

平成22年7月30日訓令第31号

石巻市食育推進庁内検討会議設置要綱

(設置)

第1条 石巻市食育推進計画の策定及び推進に当たり、関係各課との連携を密にし、円滑かつ効率的な食育推進会議の運営に資するため、石巻市食育推進庁内検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 食育推進計画の基本方針及び基本構想の推進に関すること。
- (2) 食育推進計画の素案を作成すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、食育の推進に関すること。

(組織)

第3条 検討会議は、会長、副会長及び委員をもって構成し、別表第1に掲げる職にある者をもって充てる。

2 会長は、検討会議を代表し、その会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 検討会議の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、検討会議の会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(ワーキングチーム)

第5条 検討会議の会議を円滑に行うため、検討会議の会議に付すべき事項を事前に調査及び検討するワーキングチームを設置する。

2 ワーキングチームは、座長、副座長及びチーム員をもって組織する。

3 座長は健康部健康推進課長をもって充て、副座長及びチーム員は別表第2に掲げる課の長の自らの属する課の職員のうちから指名する者をもって充てる。

4 ワーキングチームの会議は、座長が招集し、座長がその議長となる。

5 座長は、必要があると認めるときは、ワーキングチームの会議にチーム員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 検討会議及びワーキングチームの事務局は、健康部健康推進課に置く。

2 事務局員は、別表第3に掲げる課の長の自らの属する課の職員のうちから指名する者をもって充てる。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この訓令は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日訓令第14号）

この訓令は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年7月30日訓令第31号）

この訓令は、平成22年8月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）

会長	健康部次長
副会長	産業部次長
委員	河北総合支所次長、雄勝総合支所次長、河南総合支所次長、桃生総合支所次長、北上総合支所次長、牡鹿総合支所次長、生活環境部環境課長、福祉部福祉総務課長、同部子育て支援課長、産業部商工観光課長、同部水産課長、同部農林課長、教育委員会学校教育課長及び同委員会学校管理課長

別表第2（第5条関係）

副座長	産業部水産課及び教育委員会学校教育課
チーム員	河北総合支所保健福祉課、雄勝総合支所保健福祉課、河南総合支所保健福祉課、桃生総合支所保健福祉課、北上総合支所保健福祉課、牡鹿総合支所保健福祉課、生活環境部環境課、福祉部福祉総務課、同部子育て支援課、産業部商工観光課、同部農林課及び教育委員会学校管理課

別表第3（第6条関係）

健康部健康推進課、福祉部子育て支援課、産業部水産課及び教育委員会学校教育課

資料5 石巻市の現状分析資料

(1) 市民健康調査

調査の目的	石巻市では、市民の主体的な健康づくりを支援するために、平成 19 年度から平成 28 年度までの 10 年間を計画期間とする「石巻市健康増進計画」を策定し、この計画に基づき様々な取組を進めている。この度、計画の中間見直しにあたって、東日本大震災後の市民の健康づくりに関する意識や、食生活、運動等に関する実態を把握し、計画づくりに資することを目的として実施した。																														
調査対象	20 歳から 64 歳までの市民（住民基本台帳による無作為抽出）																														
調査方法	郵送配布、郵送回収																														
調査時期	平成 24 年（2012 年）11 月																														
回収結果	<p>発送数 2,400 件 有効回収数 1,047 件 有効回収率 43.6%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合計</th> <th>石巻地区</th> <th>河北地区</th> <th>雄勝地区</th> <th>河南地区</th> <th>桃生地区</th> <th>北上地区</th> <th>牡鹿地区</th> <th>その他^{※1}</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,047(件)</td> <td>718</td> <td>81</td> <td>10</td> <td>130</td> <td>49</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>100.0(%)</td> <td>68.6</td> <td>7.7</td> <td>1.0</td> <td>12.4</td> <td>4.7</td> <td>1.4</td> <td>2.0</td> <td>2.1</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 「その他」の場合→「県内」6 件（0.6%）、「県外」1 件（0.1%）、「無回答」15 件（1.4%）※問 4 回答結果より</p>	合計	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	その他 ^{※1}	無回答	1,047(件)	718	81	10	130	49	15	21	22	1	100.0(%)	68.6	7.7	1.0	12.4	4.7	1.4	2.0	2.1	0.1
合計	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	その他 ^{※1}	無回答																						
1,047(件)	718	81	10	130	49	15	21	22	1																						
100.0(%)	68.6	7.7	1.0	12.4	4.7	1.4	2.0	2.1	0.1																						
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ◇食生活について ◇食を取り巻く環境について ◇運動、身体のことについて ◇喫煙について ◇飲酒について ◇心の健康について ◇歯の健康について ◇子育て支援について 																														

※集計は小数点以下第 2 位を四捨五入している。

従って回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。

市民健康調査結果抜粋

食習慣と健康

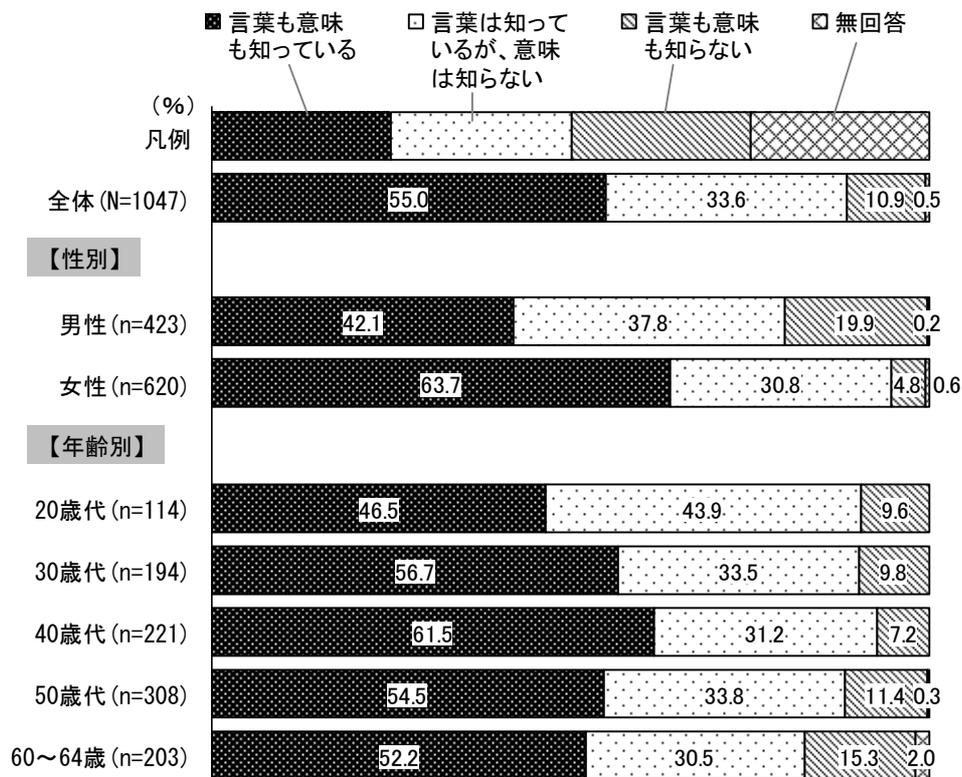
■食育の認知状況

あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。

食育の認知状況については、「言葉も意味も知っている」の割合が55.0%と過半数を占め最も高く、「言葉は知っているが、意味は知らない」が33.6%、「言葉も意味も知らない」が10.9%となっている。

性別では、女性において「言葉も意味も知っている」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、30歳以上の年齢層で「言葉も意味も知っている」の割合が、それぞれ半数以上を占めており、特に40歳代で最も高くなっている。



■食育に対する関心度

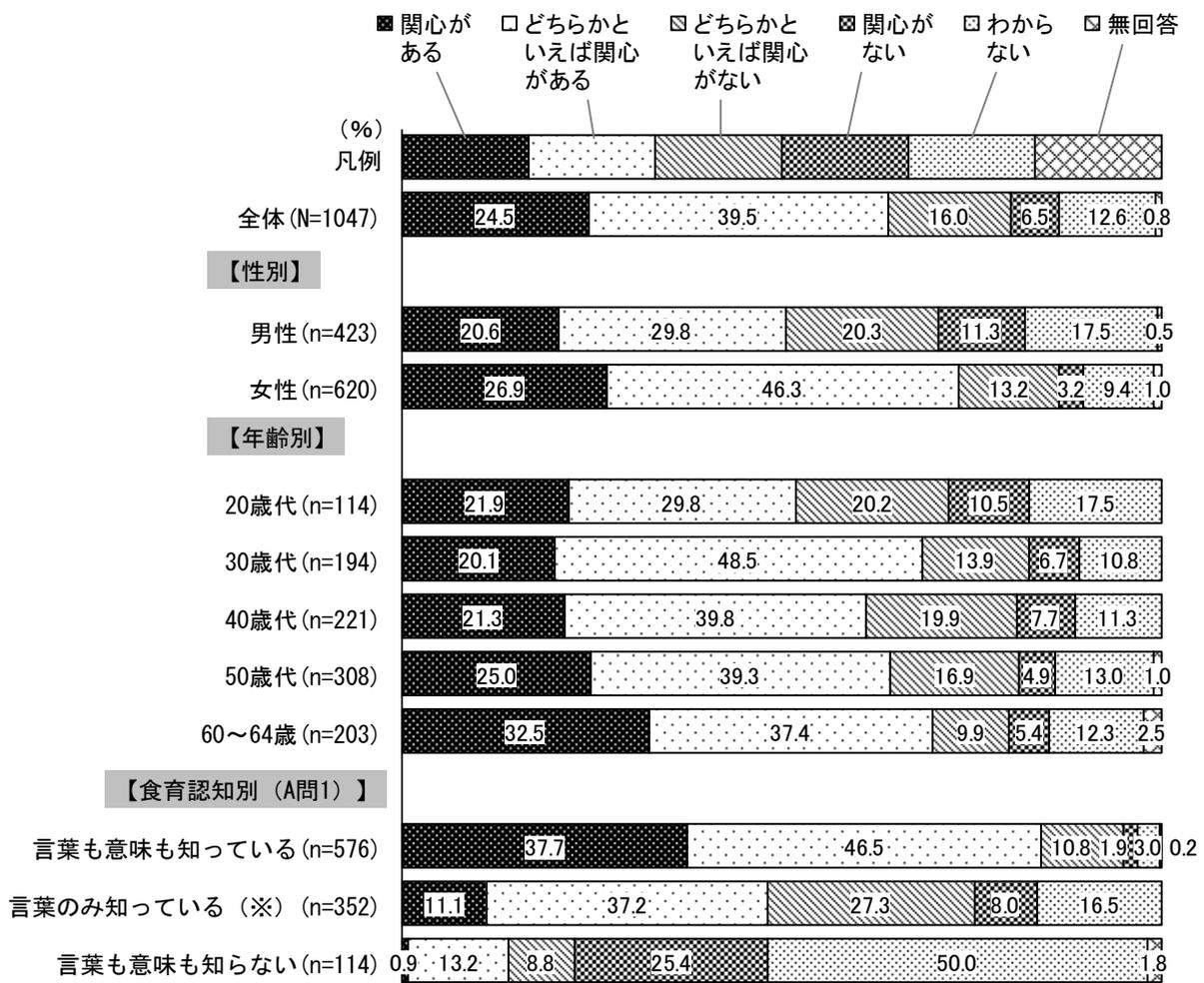
「食育」に関心がありますか。

食育に対する関心度については、「関心がある」が24.5%、「どちらかといえば関心がある」が39.5%で、合計64.0%が『関心がある』と回答している。一方、「どちらかといえば関心がない」(16.0%)、「関心がない」(6.5%)の合計は22.5%となっている。

性別では、『関心がある(合計)』の割合は女性で高く、特に「どちらかといえば関心がある」割合は男性を大きく上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど『関心がある(合計)』層も増える傾向にある。

食育認知別でみると、食育を「言葉も意味も知っている」層ほど「関心がある」割合も高い傾向にある。



※言葉は知っているが、意味は知らない

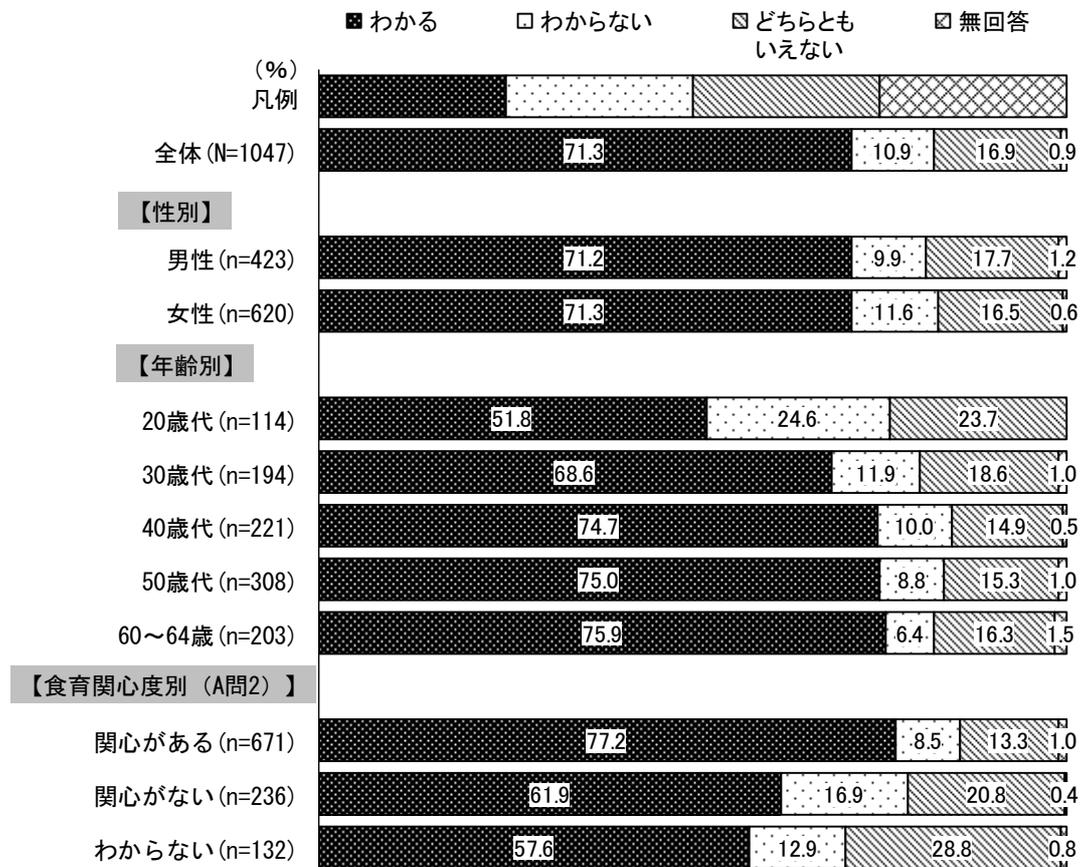
■適量の食事の認識

自分の食事の適量がわかりますか。

適量の食事の認識については、「わかる」が71.3%と7割を占め最も高く、「わからない」が10.9%となっている。なお「どちらともいえない」は16.9%みられた。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、20歳代において「わからない」及び「どちらともいえない」の割合が、他の年齢層を上回っている。

食育関心度別でみると、「関心がある」層で「わかる」割合が8割近くを占めている。



※食育関心度別 (A問2)

「関心がある」→「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計

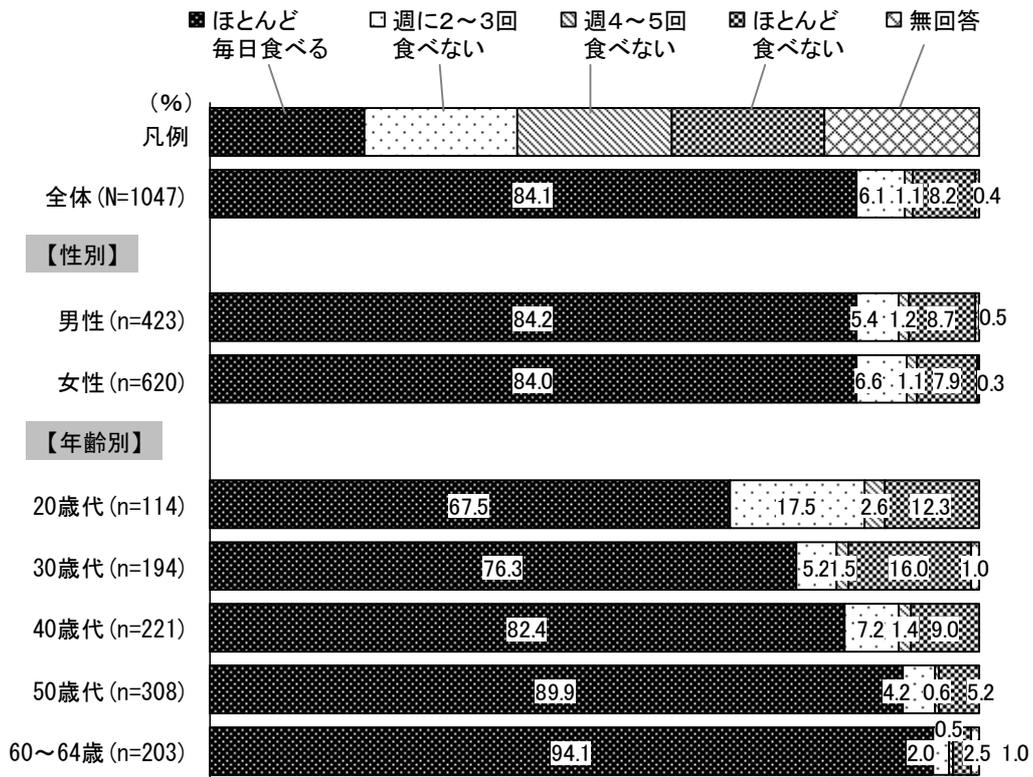
「関心がない」→「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の合計

■朝食摂取状況

朝食を食べていますか。

朝食摂取状況については、「ほとんど毎日食べる」が84.1%と大半を占めている。「週に2～3回食べない」は6.1%、「週4～5回食べない」は1.1%、「ほとんど食べない」は8.2%となっている。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、年齢が上がるほど「ほとんど毎日食べる」割合も高い傾向にある。20歳代では「週に2～3回食べない」の割合が、他の年齢層に比べ高く、30歳代では「ほとんど食べない」が他の年齢層に比べ高くなっている。



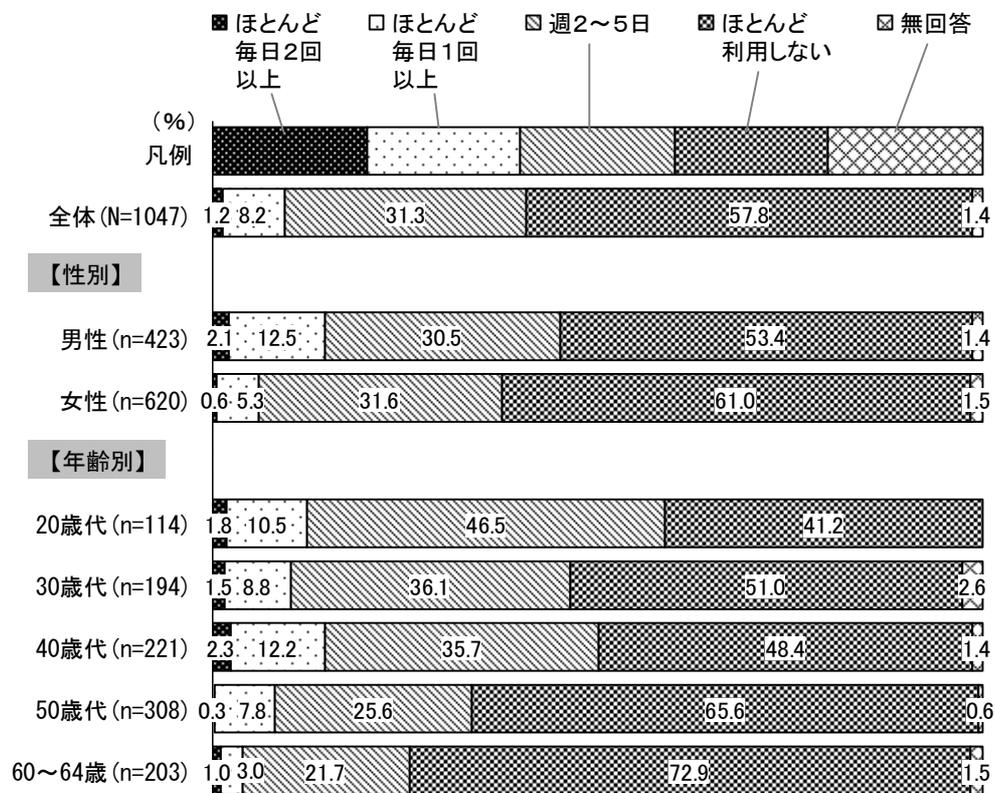
■ 外食の利用状況

外食（市販の弁当などの利用も含む）をどのくらい利用しますか。

外食の利用状況については、「ほとんど利用しない」が 57.8%と過半数を占めているが、「ほとんど毎日2回以上」が 1.2%、「ほとんど毎日1回以上」が 8.2%、「週2～5日」が 31.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べ利用頻度が多く、特に「ほとんど毎日1回以上」の割合が高い。女性は「ほとんど利用しない」が男性を上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど利用頻度が多い傾向にあり、特に 20 歳代では「週2～5日」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。一方、50 歳以上の年齢層では「ほとんど利用しない」が 6 割以上となっている。



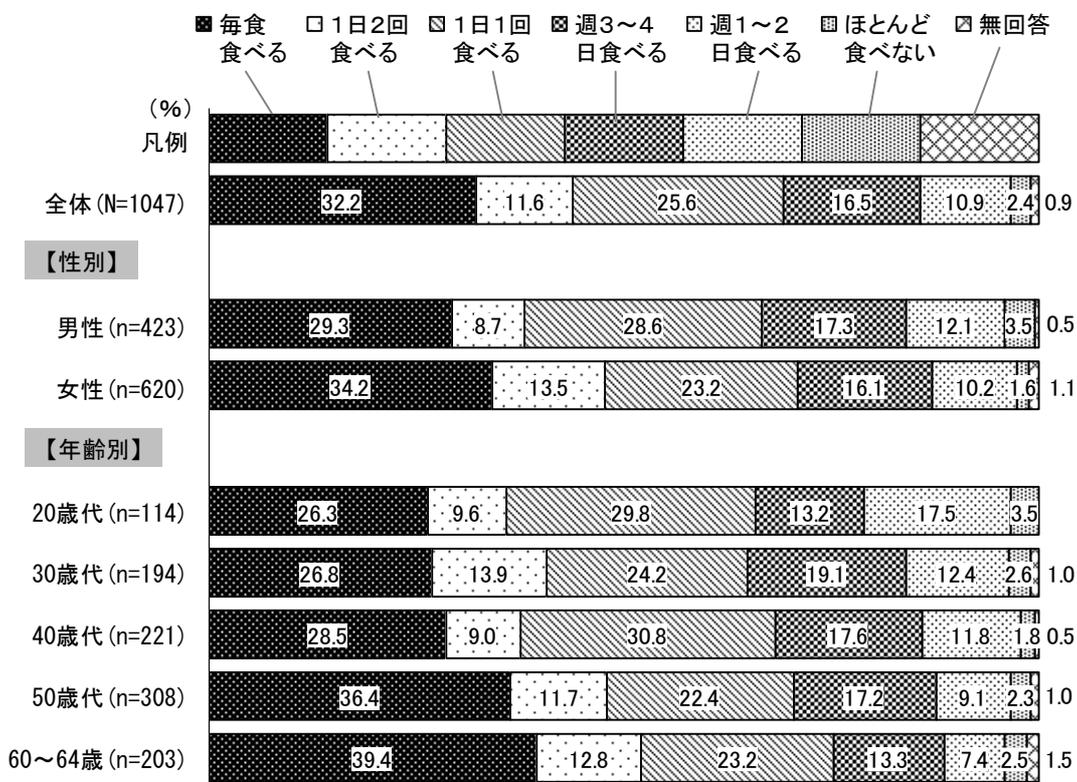
■野菜や海藻のおかず摂取状況

野菜や海藻のおかずを食べますか。

野菜や海藻のおかず摂取状況については、「毎食食べる」の割合が32.2%と最も高く、次いで「1日1回食べる」(25.6%)、「週3～4日食べる」(16.5%)、「1日2回食べる」(11.6%)の順となっており、「ほとんど食べない」は2.4%であった。

性別では、男性よりも女性の摂取頻度が多い傾向にある。

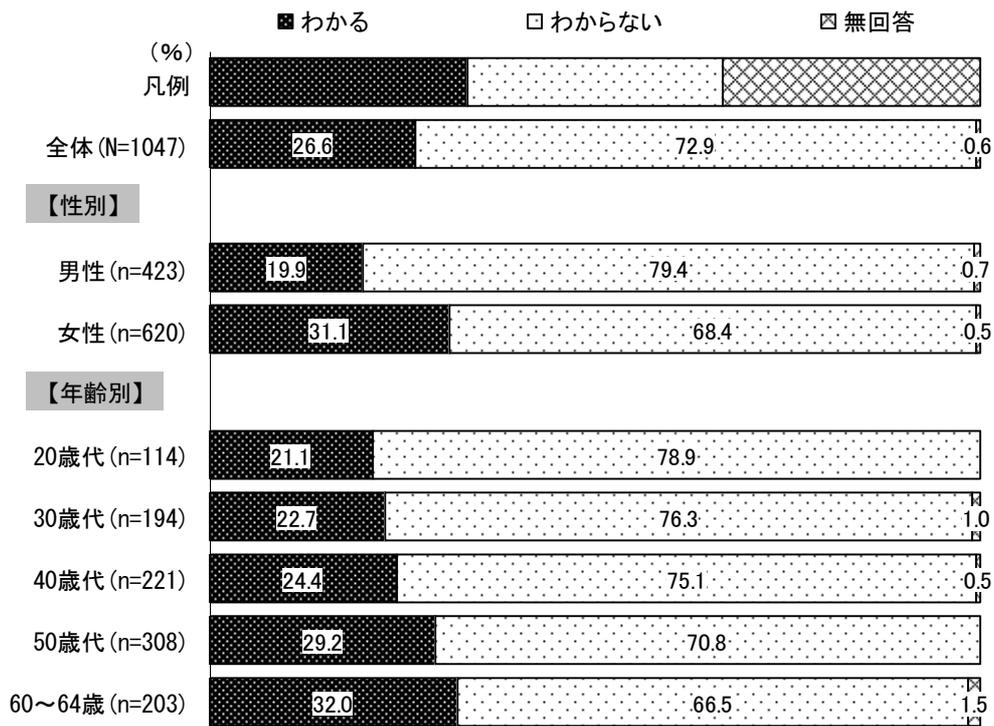
年齢別では、年齢が上がるほど摂取頻度も増える傾向にあり、特に50歳以上の年齢層では「毎食食べる」の割合が3割以上となっている。



■ 一日の野菜摂取量目安の認知

野菜の一日摂取量の目安がわかりますか。

一日の野菜摂取量目安の認知については、「わかる」が26.6%となっている。
性別では女性、年齢別では年齢が上がるほど「わかる」の割合も高い傾向にある。



■野菜の1日の目標摂取量認知状況

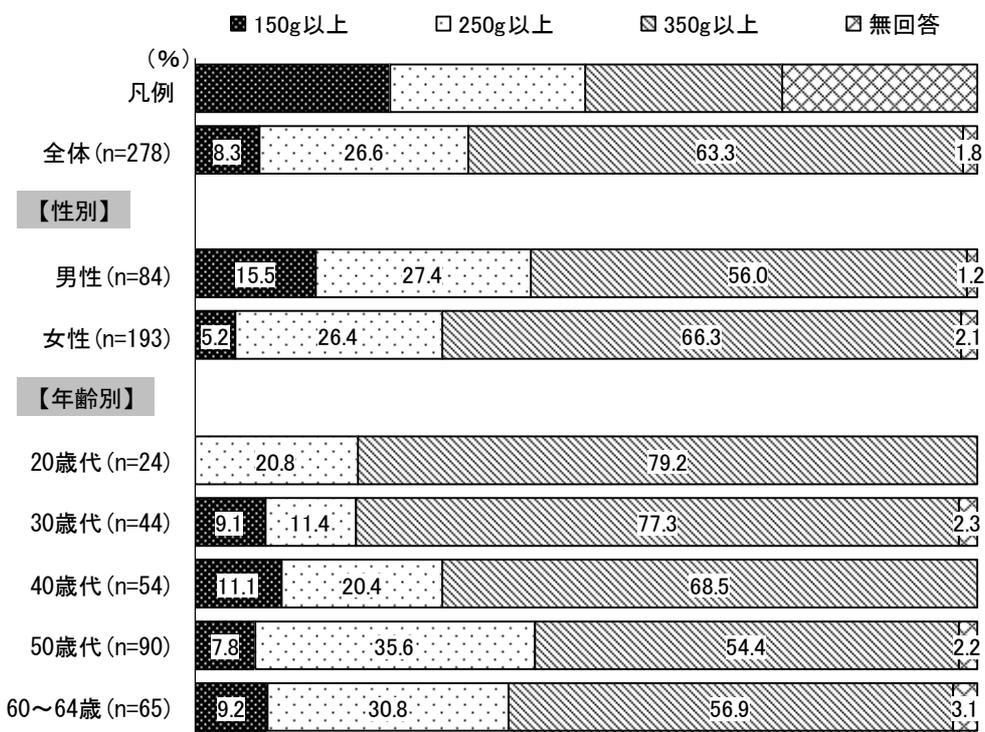
野菜の1日摂取量の目安がわかるに○をつけた方にお聞きします。

野菜の1日の目標摂取量は何グラムだと思いますか。

野菜の1日の目標摂取量認知状況については、「350g以上」の割合が63.3%を占め最も高く、次いで「250g以上」(26.6%)、「150g以上」(8.3%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「150g以上」の割合が高く、女性は「350g以上」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、50歳以上の年齢層では、他の年齢層に比べ「250g以上」の割合が高く、おおむね若い年齢層ほど「350g以上」の割合が高い傾向にある。



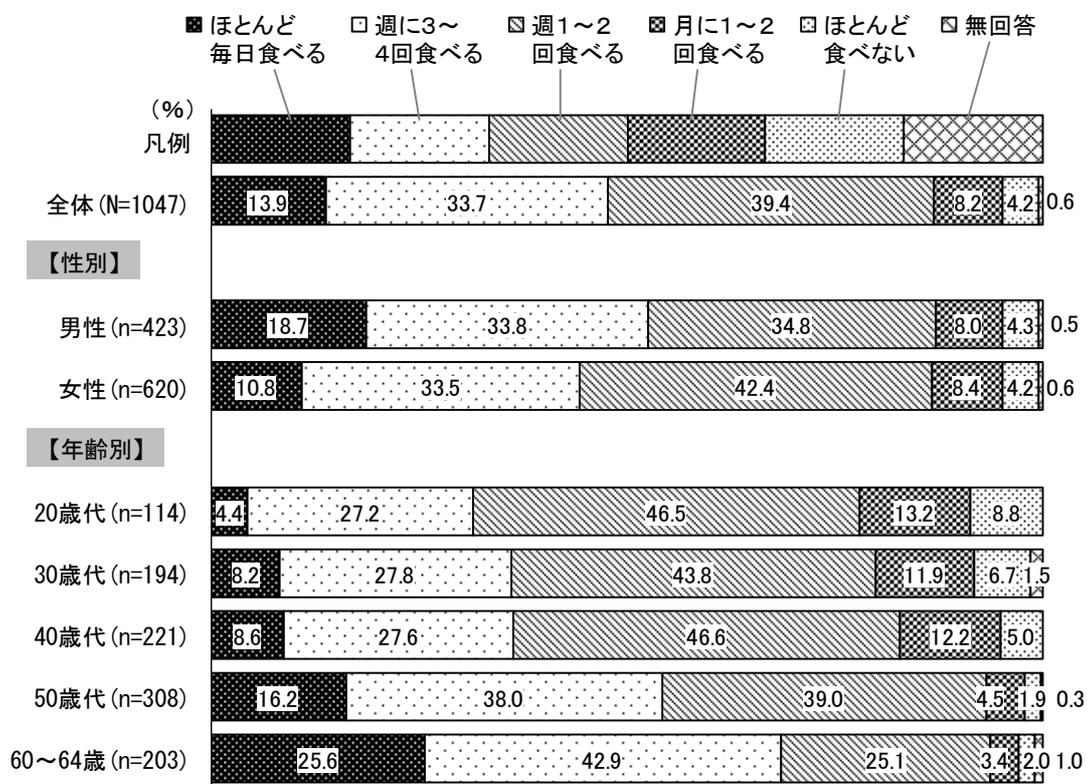
■魚のおかず摂取状況

魚のおかずを食べますか。

魚のおかず摂取状況については、「ほとんど毎日食べる」の割合が13.9%、「週に3～4回食べる」が33.7%、「週1～2回食べる」が39.4%で、これら『週1回以上(合計)』で、全体の9割近く(87.0%)を占めている。「ほとんど食べない」は4.2%であった。

性別では、女性よりも男性で摂取頻度が多い傾向にあり、特に「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっている。女性は「週1～2回食べる」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど摂取頻度も多くなる傾向にあり、特に60～64歳では「ほとんど毎日食べる」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



■塩分への気遣い

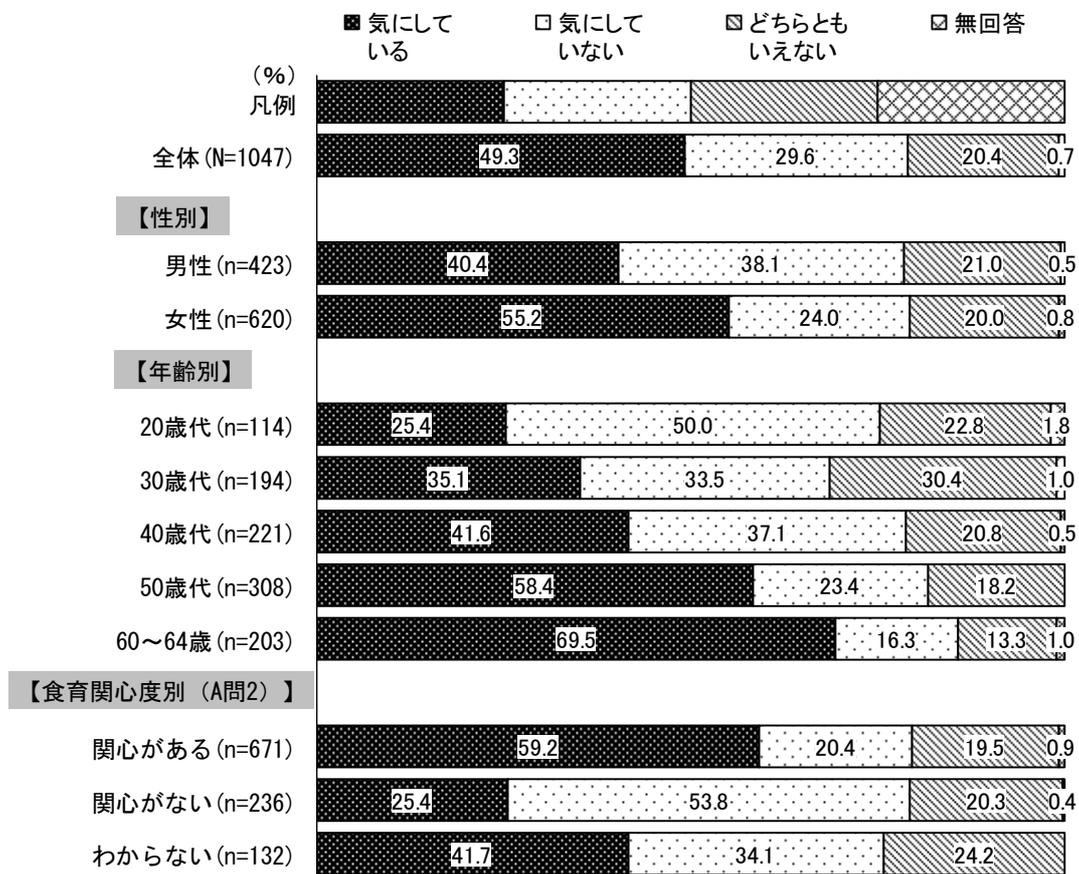
塩分のことを気にして食事をしていますか。

塩分への気遣いについては、「気にしている」の割合が 49.3%と半数近くを占め最も高くなっている。「気にしていない」は 29.6%とおよそ3割、「どちらともいえない」は 2割 (20.4%) であった。

性別では、男性に比べ女性で「気にしている」の割合が高くなっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「気にしている」の割合も高くなる傾向にあり、特に50歳以上の年齢層では半数以上を占めている。

食育関心度別でみると、食育に関心がある層ほど「気にしている」の割合も高い傾向にあり、関心がない層を大きく上回っている。



※食育関心度別 (A問2)
 「関心がある」→「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計
 「関心がない」→「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の合計

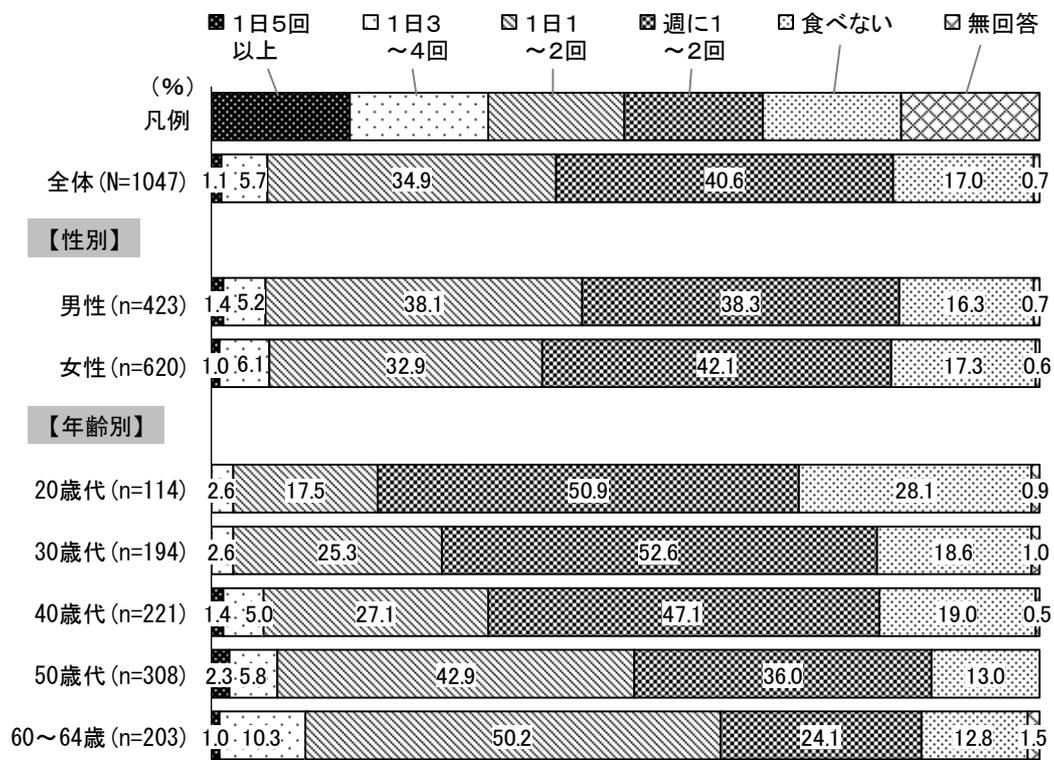
■漬物の摂取頻度

漬物は、どの位食べますか。(食事、お茶うけを含めて)

漬物の摂取頻度については、「週に1～2回」の割合が40.6%と最も高く、「1日1～2回」が34.9%で続いており、両者合計で全体の8割近く（75.5%）を占めている。なお、「1日5回以上」は1.1%、「1日3～4回」は5.7%となっており、「食べない」は17.0%みられた。

性別では、男性で「1日1～2回」の割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるほど摂取頻度も増える傾向にあり、特に50歳以上の年齢層では「1日1～2回」の割合が4割以上となっている。



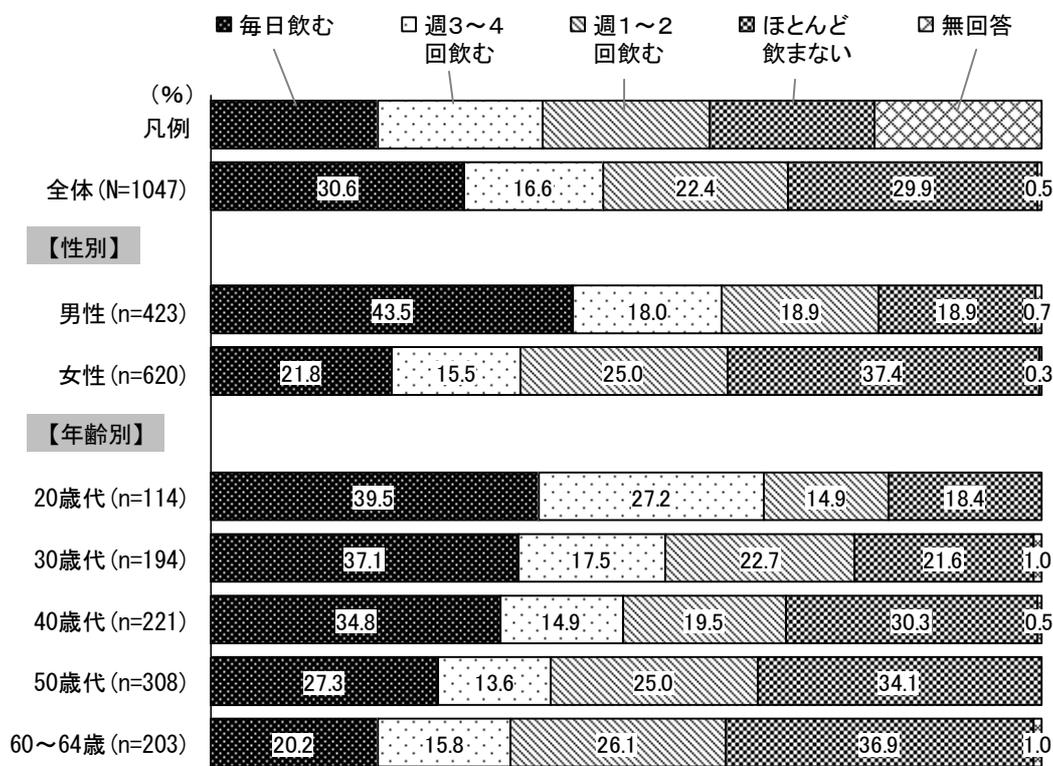
■ 甘い飲み物の飲用状況

水・お茶類以外の甘い飲み物（たとえば清涼飲料水、スポーツドリンク、缶コーヒー、栄養ドリンクなど）を飲みますか。

甘い飲み物の飲用状況については、「毎日飲む」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「週1～2回飲む」が 22.4%、「週3～4回飲む」が 16.6%の順となっている。なお、「ほとんど飲まない」は 29.9%と約3割みられた。

性別では、男性は女性に比べ「毎日飲む」割合が高く、女性は「ほとんど飲まない」が男性を大きく上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど「毎日飲む」の割合が高い傾向にあり、逆に、年齢が上がるほど「ほとんど飲まない」が増える傾向にある。



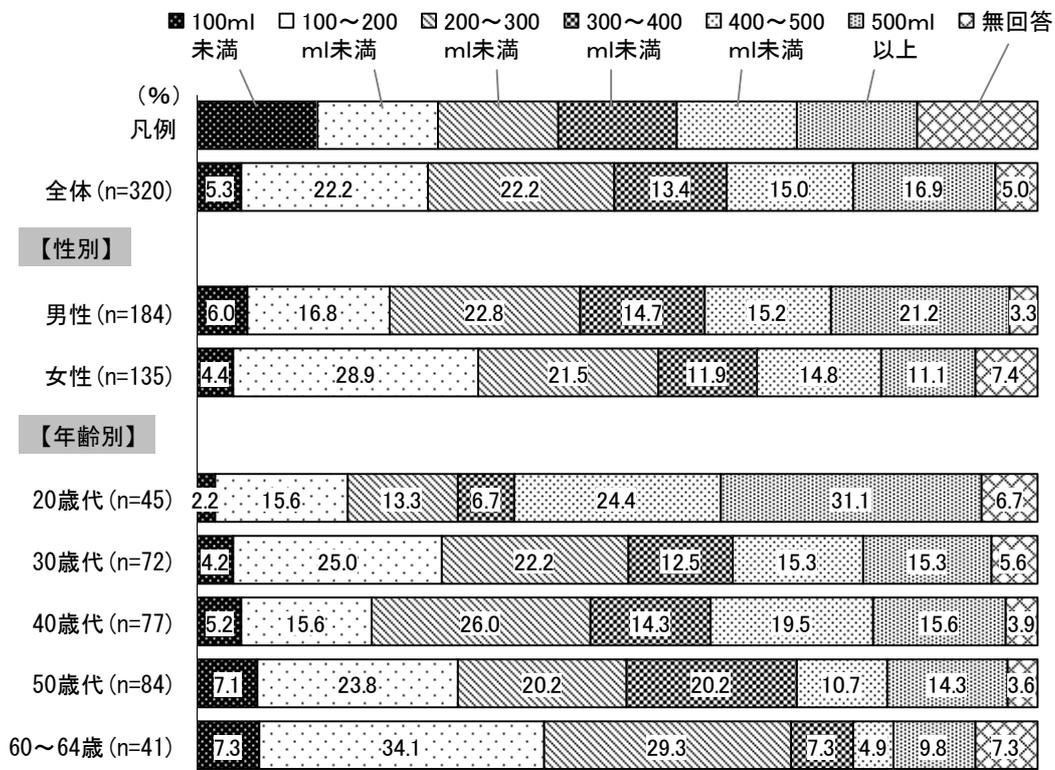
■甘い飲み物の1日あたり飲用量

水・お茶類以外の甘い飲み物を毎日飲むに○をつけた方にお聞きします。
1日に、どの位飲みますか。

甘い飲み物の1日あたり飲用量については、「100～200ml未満」及び「200～300ml未満」の割合が各22.2%と最も高く、次いで「500ml以上」(16.9%)、「400～500ml未満」(15.0%)の順となっている。

性別では、女性よりも男性で飲用量が多い傾向にあり、特に「500ml以上」の割合は女性を大きく上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど飲用量も多い傾向にあり、特に20歳代では「400～500ml未満」及び「500ml以上」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

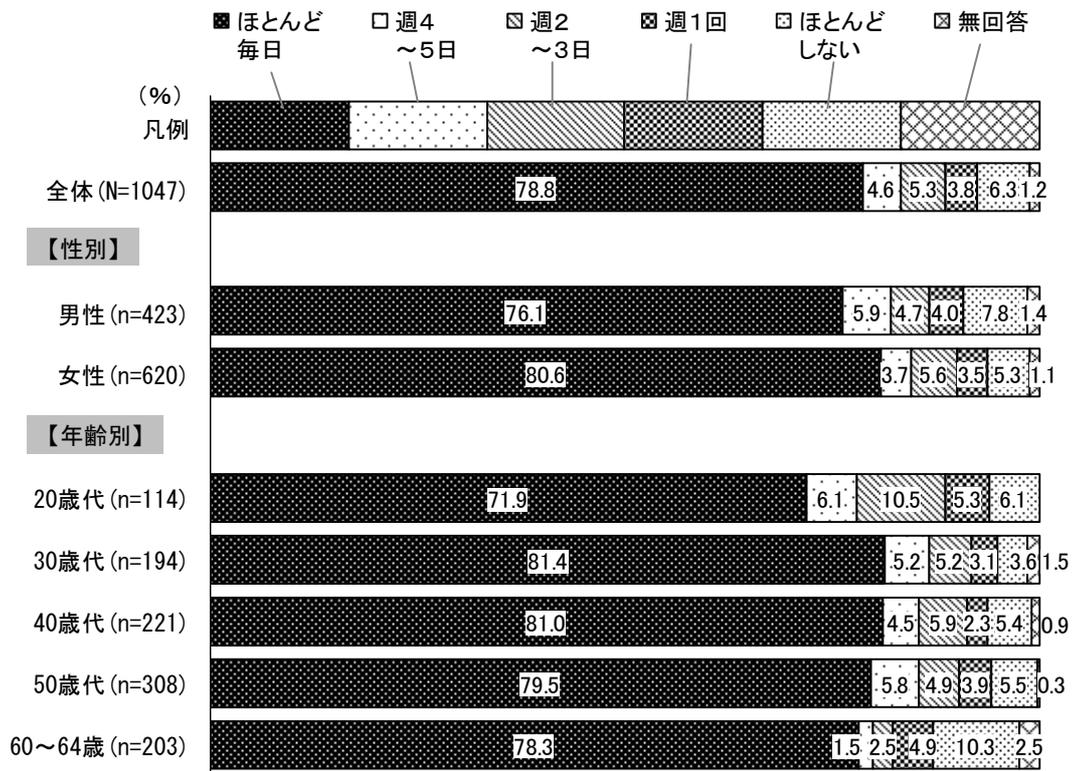


■家族や友人との食事頻度

あなたは、家族や友人との食事を週何回していますか。

家族や友人との食事頻度については、「ほとんど毎日」の割合が78.8%と8割近くを占めている。「ほとんどしない」は6.3%であった。

性別、年齢別ともに大きな差は目立たないが、20歳代で「ほとんど毎日」の割合が、他の年齢層に比べやや低くなっている。

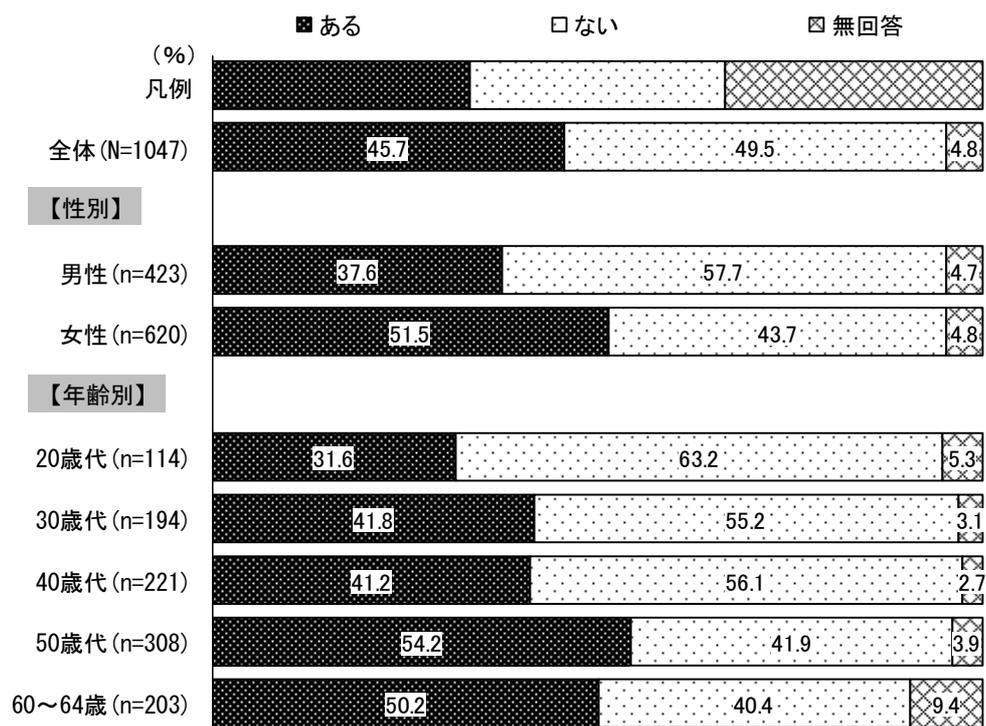


郷土料理と地産地消

■ 地元の郷土料理の想起

地元の郷土料理で思い浮かべるものはありますか。

地元の郷土料理の想起については、「ある」が45.7%となっている。
性別では、女性で「ある」の割合が高く、年齢別では50歳以上の年齢層で高くなっている。



地元の郷土料理で思い浮かべるものを記述形式によって尋ねたところ、次表のように集約された。回答は多い項目を順に抜粋しており、件数が1件の回答は多岐にわたるため省略している。

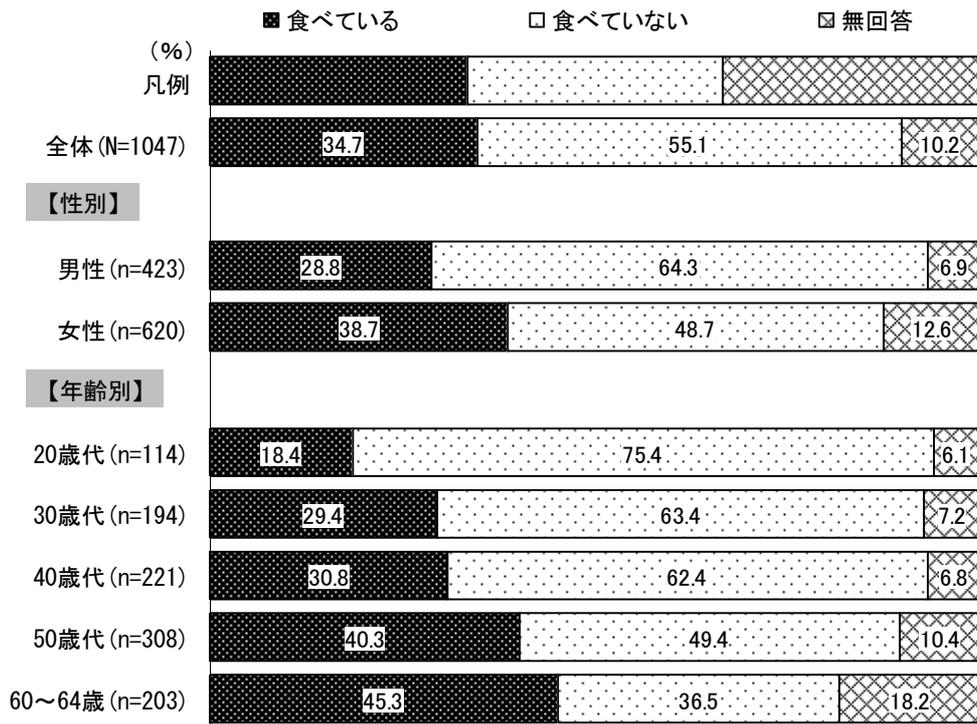
B 問 2. 郷土料理で思い浮かべるもの	件数
おくずかけ	205
ずんだもち	77
石巻焼きそば	63
はっと汁	56
どんこ汁	33
雑煮	27
からし巻	23
はらこ飯	16
油麩丼	15
さんまのすり身汁	14
鯨料理	12
カキ鍋	11
カキ料理	11
笹かまぼこ	11
すいとん	10
豚汁	10
いも煮	9
カキ	7
牛タン	6
ホヤ料理	6
カキフライ	5
魚料理	5
ひじき煮	5
ホヤ	5
鯨の竜田揚げ	5
クルミ豆腐	4
さんまのつくだ煮	4
さんまのつみれ汁	4
しじみ汁	4
しそ巻き	4
煮しめ	4
あなご丼	3
ウニごはん	3
がんづき	3
くず煮	3
さんまのぬた	3
さんまの塩焼き	3
たら汁	3
煮物	3
ワカメ料理	3
魚介類	3
寿司	3
あら汁	2

→続き B 問 2. 郷土料理で思い浮かべるもの	件数
アワビごはん	2
いちご煮	2
おはぎ	2
きりたんぼ鍋	2
刺身	2
三平汁	2
さんまの刺身	2
さんま料理	2
せんべい汁	2
ホタテ	2
ワカメのおひたし	2
海鮮鍋	2
海鮮料理	2
海苔汁	2
魚	2
生ガキ	2
切干大根の煮物	2
草餅	2
米	2
油麩料理	2
冷麺・冷やし中華	2

■地元の郷土料理摂取状況

地元の郷土料理を食べていますか。

地元の郷土料理摂取状況については、「食べている」の割合は34.7%であった。
性別では、男性よりも女性で「食べている」割合が高く、年齢別では年齢が上がるほど「食べている」割合も高い傾向にある。



地元の郷土料理で食べているものを記述形式によって尋ねたところ、次表のように集約された。回答は多い項目を順に抜粋しており、件数が1件の回答は省略している。

B問3. 食べている郷土料理	件数
おくずかけ	144
石巻焼きそば	43
ずんだもち	42
はっと汁	34
どんこ汁	22
雑煮	19
からし巻	16
カキ鍋	11
鯨料理	10
さんまのすり身汁	9
油麩井	9
魚料理	8
すいとん	8
カキ料理	7
豚汁	7
はらこ飯	6
カキ	5
いも煮	4
カキフライ	4
クルミ豆腐	4
煮物	4
ひじき煮	4
あなご丼	3
さんまのつくだ煮	3
さんまのつみれ汁	3
さんまの塩焼き	3
さんま料理	3
しじみ汁	3
ホタテ	3
ワカメ	3
鯨の竜田揚げ	3
笹かまぼこ	3
寿司	3
おはぎ	2
牛タン	2
刺身	2
三平汁	2
さんまのぬた	2
しそ巻き	2
精進料理	2
たら汁	2
つみれ汁	2
ホヤ料理	2
海苔汁	2
鯨	2
煮しめ	2

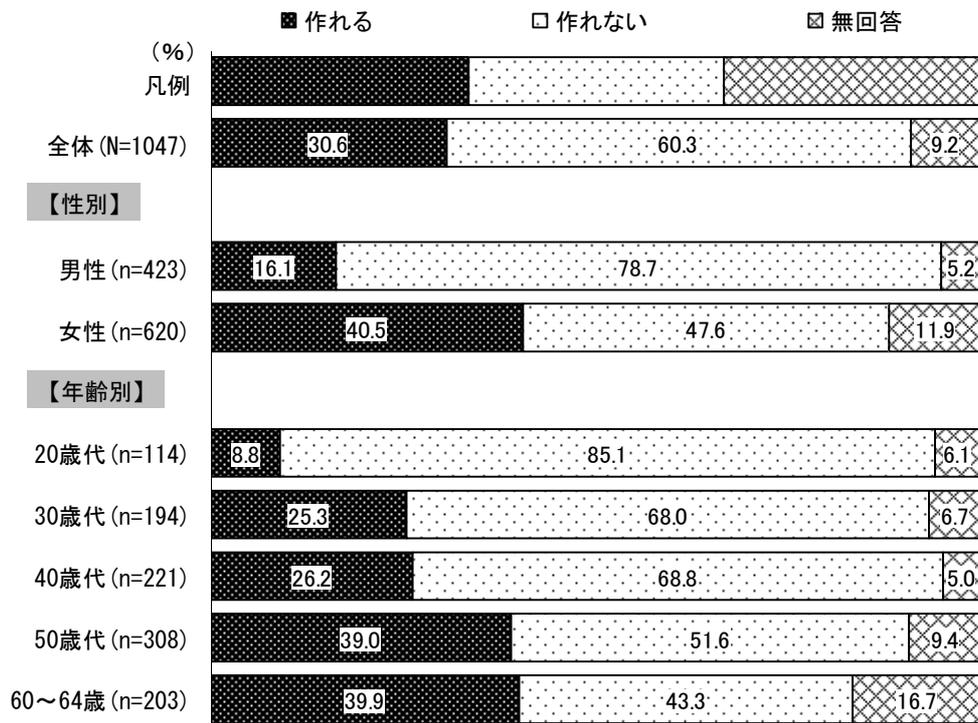
■地元の郷土料理の調理

地元の郷土料理を自分で作れますか。

地元の郷土料理の調理については、「作れる」の割合は30.6%であった。

性別では、男性よりも女性で「作れる」割合が高く、男性を大きく上回って4割を占めている。

年齢別では年齢が上がるほど「作れる」割合も高い傾向にあり、特に50歳以上の年齢層では4割近くを占めている。一方で、20歳代は「作れない」が大半を占めている。



地元の郷土料理で作れるものを記述形式によって尋ねたところ、次表のように集約された。回答は多い項目を順に抜粋しており、件数が1件の回答は省略している。

B問4. 作れる郷土料理	件数
おくずかけ	134
石巻焼きそば	36
ずんだもち	32
はっと汁	31
雑煮	21
どんこ汁	21
カキ鍋	10
油麩丼	10
さんまのすり身汁	9
すいとん	9
豚汁	8
カキ料理	6
からし巻	6
鯨料理	6
カキフライ	5
さんまのつくだ煮	5
しじみ汁	5
いも煮	4
魚料理	4
煮物	4
はらこ飯	4
ひじき煮	4
煮しめ	4
おはぎ	3
刺身	3
さんまのつみれ汁	3
鯨の竜田揚げ	3
イカの塩辛	2
クルミ豆腐	2
さんまのぬた	2
さんまの塩焼き	2
せんべい汁	2
つみれ汁	2
菜っ葉煮	2
ホヤ料理	2

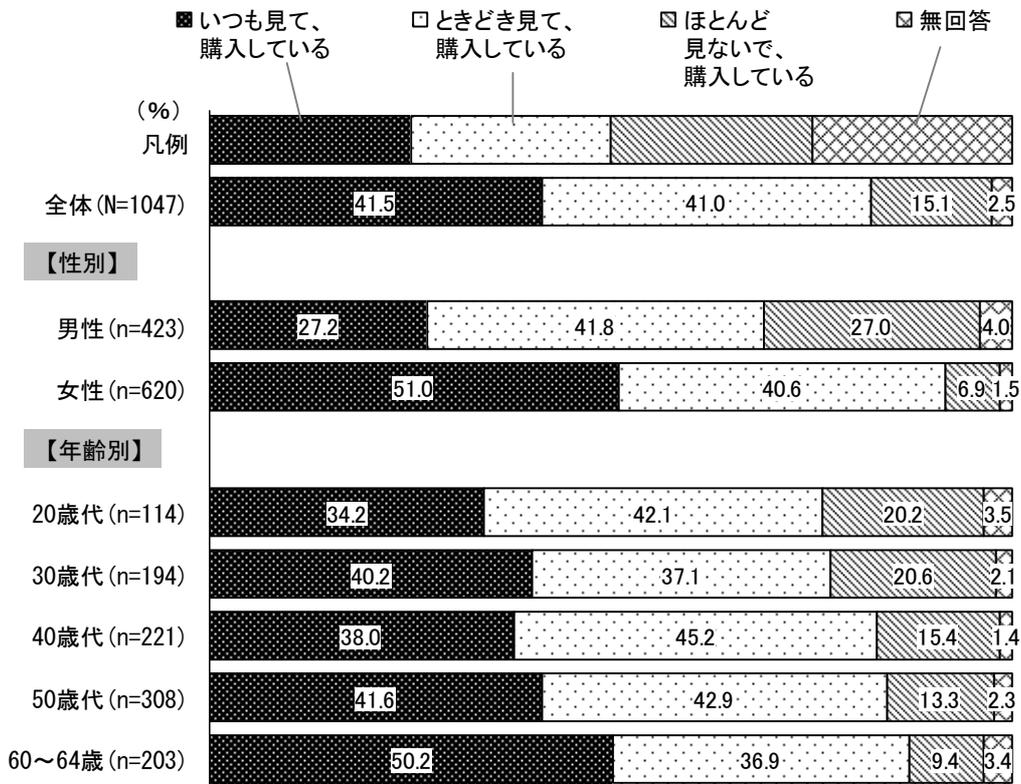
■農産物購入時の産地表示について

農産物は産地の表示を見て購入していますか。

農産物購入時の産地表示については、「いつも見て、購入している」の割合が41.5%と最も高いが、「ときどき見て、購入している」も41.0%と、ほぼ近い割合となっている。「ほとんど見ないで、購入している」は15.1%であった。

性別では、男性は女性に比べ「ほとんど見ないで、購入している」の割合が高く、女性は「いつも見て、購入している」が半数を占めている。

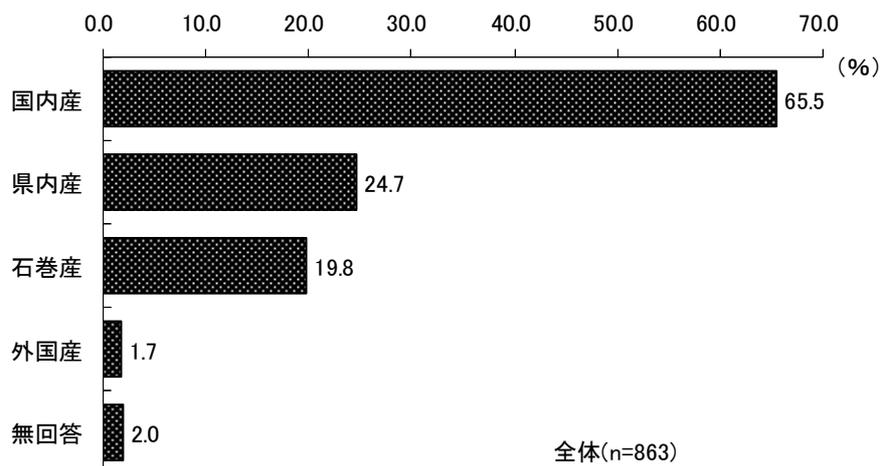
年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「いつも見て、購入している」の割合も高い傾向にある。



■よく購入する農産物の産地

農産物は産地の表示を見て「いつも見て購入している」、「ときどき見て購入している」に○をつけた方にお聞きします。どの産地のものを多く購入しますか。（複数回答）

よく購入する農産物の産地については、「国内産」の割合が65.5%と最も高く突出している。次いで「県内産」（24.7%）、「石巻産」（19.8%）の順となっている。



性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、若い年齢層ほど「国内産」、年齢が上がるほど「県内産」「石巻産」を購入する割合がそれぞれ高くなっている。

		国内産	県内産	石巻産	外国産
全体(n=863)		65.5	24.7	19.8	1.7
性別	男性(n=292)	63.7	29.5	15.1	2.7
	女性(n=568)	66.4	22.4	22.2	1.2
年齢別	20歳代(n=87)	85.1	10.3	11.5	3.4
	30歳代(n=150)	70.0	18.0	15.3	2.7
	40歳代(n=184)	69.0	20.7	14.7	1.1
	50歳代(n=260)	60.4	31.5	20.4	0.8
	60～64歳(n=177)	56.5	30.5	32.2	2.3

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。
 単位は%（パーセント）。本報告書においては、以下同様。

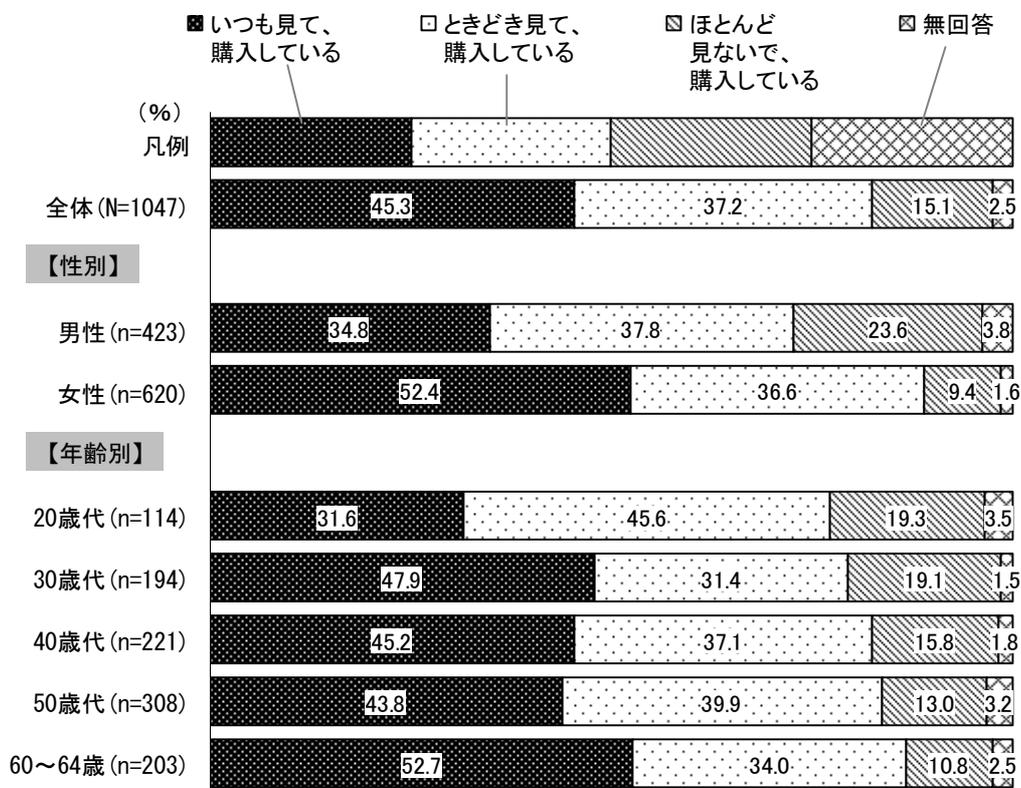
■水産物購入時の産地表示について

水産物は産地の表示を見て購入していますか。

水産物購入時の産地表示については、「いつも見て、購入している」の割合が45.3%、「ときどき見て、購入している」が37.2%で、合計8割以上（82.5%）が『見て購入している』と回答している。「ほとんど見ないで、購入している」は15.1%であった。

性別では、男性より女性で『見て購入している（合計）』割合が高く、特に「いつも見て、購入している」は男性を大きく上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど『見て購入している（合計）』割合も高くなる傾向にある。



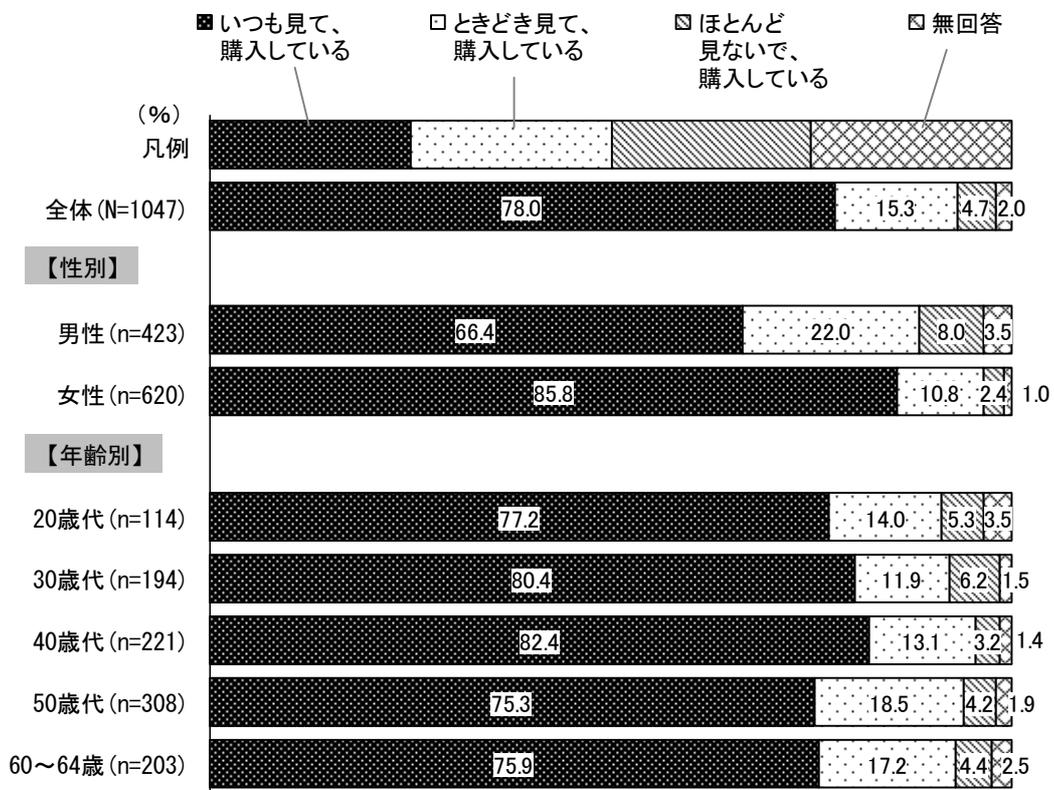
■賞味期限（消費期限）の表示について

賞味期限（消費期限）の表示を見て購入していますか。

賞味期限(消費期限)の表示については、「いつも見て、購入している」の割合が78.0%、「ときどき見て、購入している」が15.3%で、合計9割以上(93.3%)が『見て購入している』と回答している。「ほとんど見ないで、購入している」は4.7%であった。

性別では、男性より女性で『見て購入している(合計)』割合が高く、特に「いつも見て、購入している」は男性を大きく上回っている。

年齢別では、すべての年齢層で「いつも見て、購入している」の割合が7割以上を占めているが、特に30～40歳代は他の年齢層に比べ高くなっている。

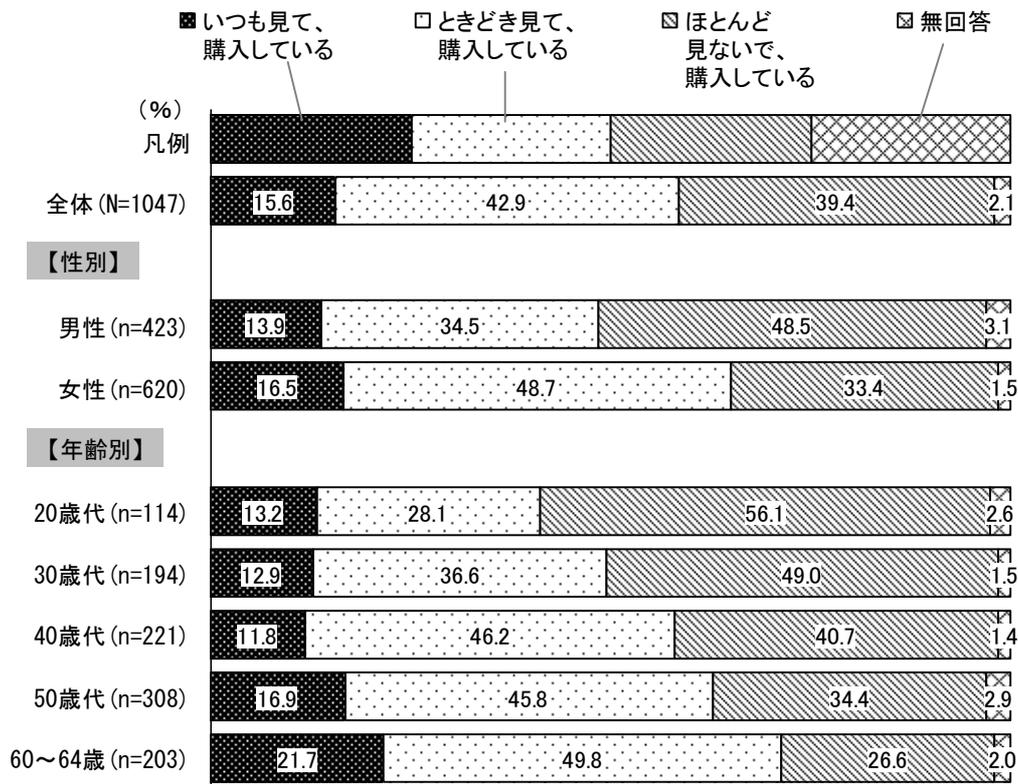


■食品添加物の表示について

食品添加物の表示を見て購入していますか。

食品添加物の表示については、「いつも見て、購入している」の割合が15.6%、「ときどき見て、購入している」が42.9%で、合計で過半数（58.5%）が『見て購入している』と回答している。「ほとんど見ないで、購入している」は39.4%であった。

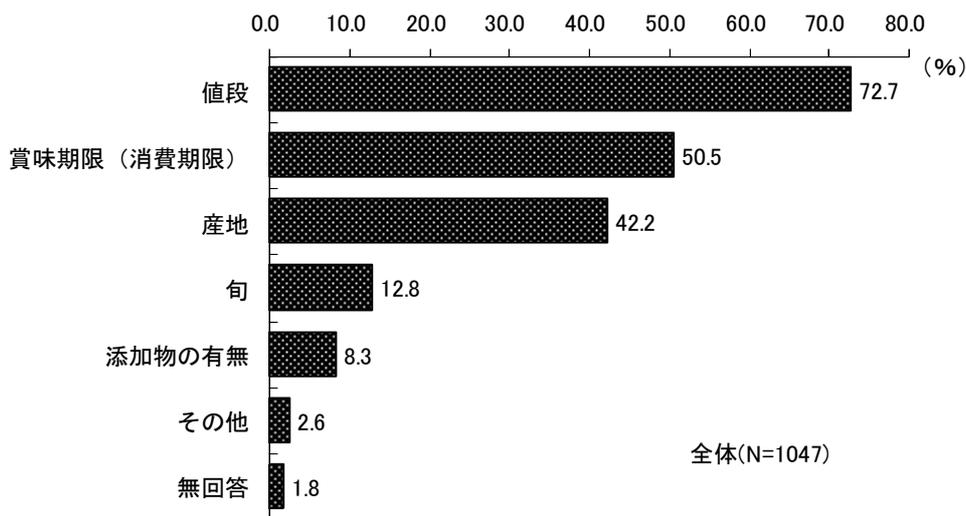
性別では、男性より女性で『見て購入している（合計）』割合が高く、年齢別では、年齢が上がるほど『見て購入している（合計）』割合も高くなる傾向にある。



■食品を購入するときのポイント

食品を購入するときのポイントは何か（上位2つを選んでください。）。

食品を購入するときのポイントについては、「値段」の割合が72.7%と最も高く、次いで「賞味期限（消費期限）」（50.5%）、「産地」（42.2%）、「旬」（12.8%）の順となっている。



性別では、男性に比べ女性において「賞味期限（消費期限）」「産地」などの割合が高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「値段」の割合が高く、年齢が上がるほど、特に60～64歳で「賞味期限（消費期限）」や「産地」などの割合が高くなっている。

	値段	（賞味期限 消費期限）	産地	旬	添加物の有無	その他	
全体(N=1047)	72.7	50.5	42.2	12.8	8.3	2.6	
性別	男性(n=423)	75.2	46.8	33.6	14.2	6.6	2.4
	女性(n=620)	71.0	52.7	48.4	11.9	9.4	2.7
年齢別	20歳代(n=114)	84.2	51.8	32.5	9.6	5.3	5.3
	30歳代(n=194)	78.4	40.7	44.8	11.3	9.3	2.1
	40歳代(n=221)	76.0	52.5	41.2	13.1	5.9	2.3
	50歳代(n=308)	73.4	51.3	37.0	13.0	9.4	2.3
	60～64歳(n=203)	56.2	56.2	53.7	14.8	10.3	2.5

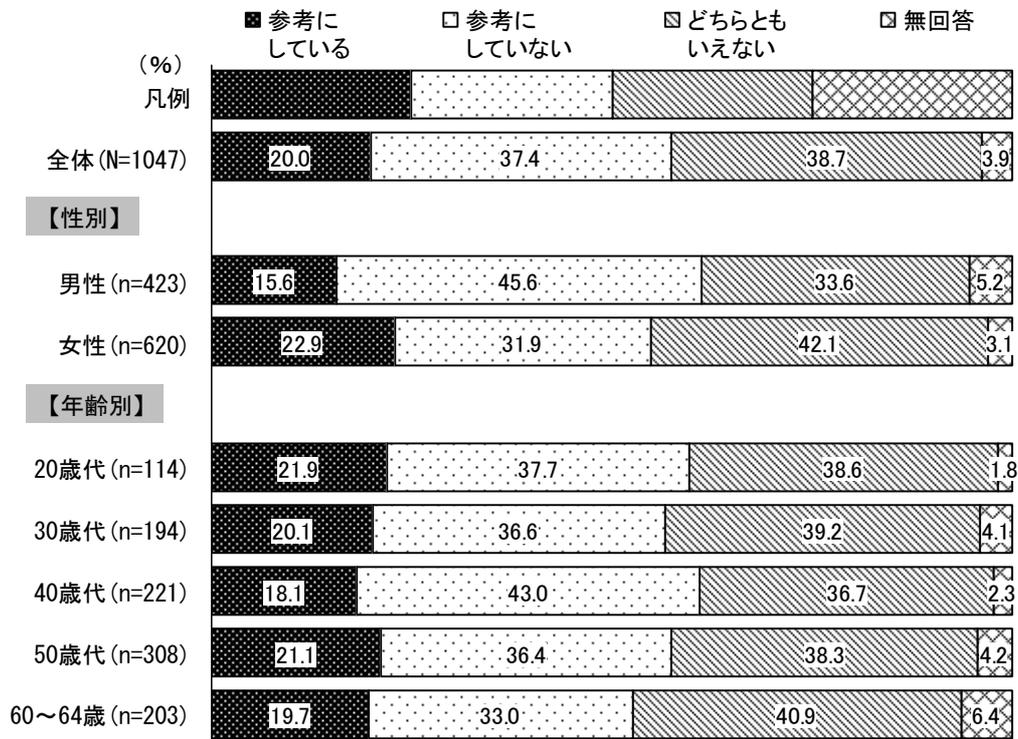
■栄養成分表示について

栄養成分表示を参考にしていますか。

栄養成分表示については、「参考にしている」が20.0%であった。一方、「参考にしていない」は37.4%、「どちらともいえない」は38.7%と、ほぼ近い割合となっている。

性別では、男性は女性に比べ「参考にしていない」割合が高く、女性は「参考にしている」及び「どちらともいえない」で男性を上回っている。

年齢別では、大きな差は目立たないが、60～64歳で「どちらともいえない」の割合がやや高くなっている。

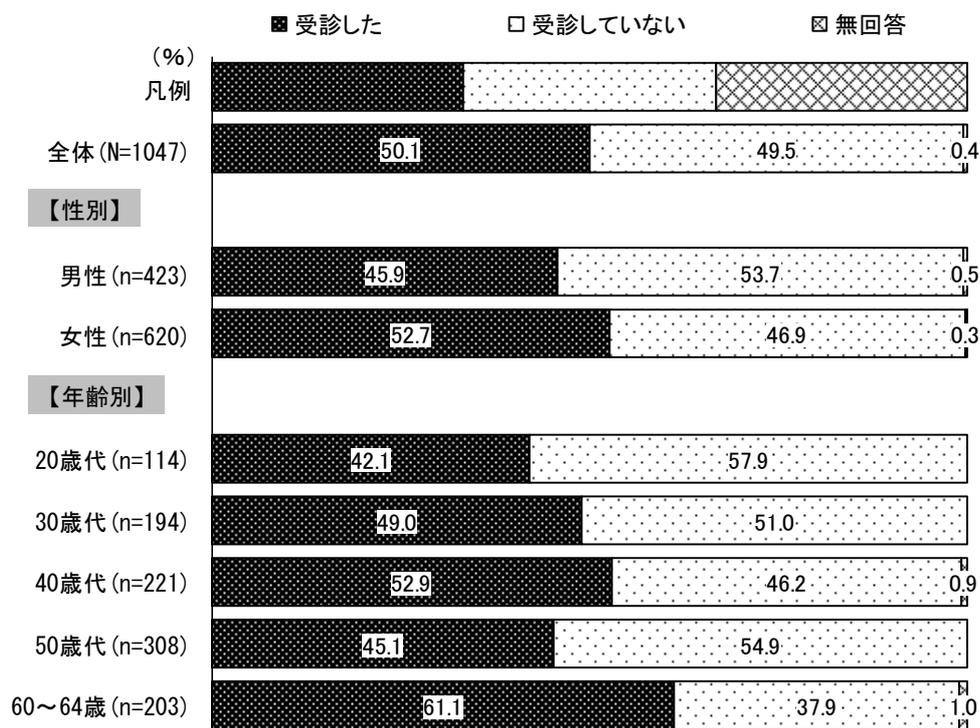




■ 歯科医院の受診状況

あなたは、1年以内に歯科医院を受診しましたか。

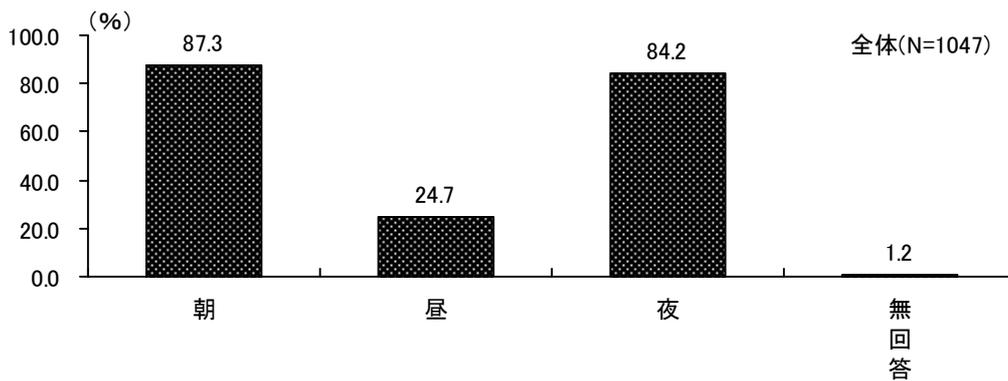
歯科受診有無については、「受診した」が約半数となっている。
性別では、「受診した」割合は女性でやや高くなっている。
年齢別では、「受診した」割合は60～64歳で6割以上と、他の年齢層に比べ最も高くなっている。



■ 歯磨きの時間（朝、昼、夜）

歯を磨くのはいつですか。

歯を磨く時間帯については、「朝」の割合が87.3%と最も高く、ほぼ並んで「夜」が84.2%となっている。「昼」は24.7%であった。



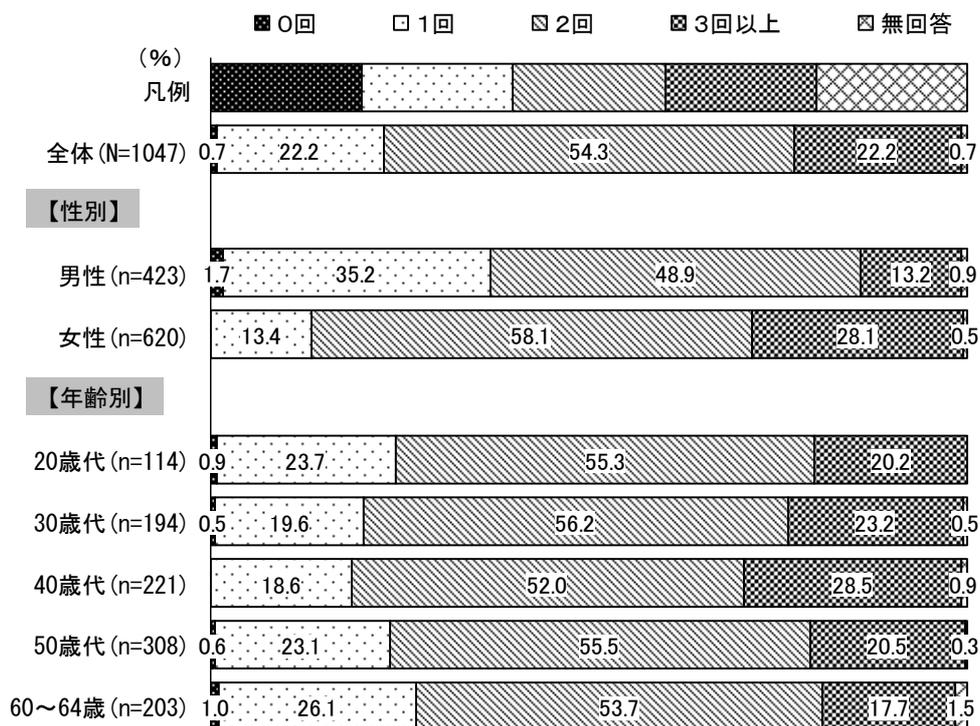
■ 歯磨きの回数

1日に何回歯を磨きますか。

1日の歯磨き回数については、「2回」の割合が54.3%と最も高く、「1回」及び「3回以上」が各22.2%で続いている。

性別では、男性は女性に比べ「1回」の割合が高く、女性は「3回以上」で男性を大きく上回っている。

年齢別では、40歳代で「3回以上」の割合がやや高いが、大きな差は目立たない。



(2) 市民健康調査（母子保健アンケート）

調査の目的	石巻市では、市民の主体的な健康づくりを支援するために、平成 19 年度から平成 28 年度までの 10 年間を計画期間とする「石巻市健康増進計画」を策定し、この計画に基づき様々な取組を進めている。この度、計画の中間見直しにあたって、東日本大震災後の乳幼児の生活に関する実態や課題を把握し、計画づくりに資することを目的として実施した。									
調査対象	平成 24 年 12 月から平成 25 年 1 月までの間に乳幼児検診を受ける乳幼児の保護者									
調査方法	健診票配布時に郵送、調査対象者が記入後、健診日に会場に持参し回収									
調査時期	平成 24 年（2012 年）12 月～平成 25 年（2013 年）1 月									
回収結果	発送数 863 件 有効回収数 506 件 有効回収率 58.6%									
	合計	石巻地区	河北地区	雄勝地区	河南地区	桃生地区	北上地区	牡鹿地区	その他 ^{※1}	無回答
	506 (件)	327	55	1	73	26	12	9	1	2
	100.0 (%)	64.6	10.9	0.2	14.4	5.1	2.4	1.8	0.2	0.4
	※1「その他」の場合→「県内」1件※問3回答結果より									
調査項目	◇子育て支援について ◇子どもの生活について ◇健診について									

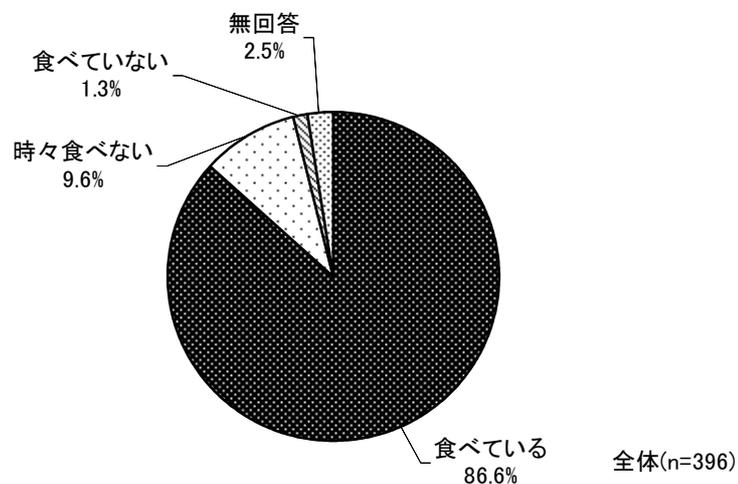
市民健康調査（母子保健アンケート）結果抜粋

■朝食

お子様は、朝食を毎日食べていますか。（3～4か月児健診の方以外）

子どもの朝食の摂取については、「食べている」の割合が86.6%と大半を占めており、「時々食べない」は9.6%、「食べていない」は1.3%みられた。

保護者の年齢別、子どもの数別でも大きな差は目立たない。



【保護者の年齢別】

		食べている	時々食べない	食べていない	無回答
全体 (N=396)		86.6	9.6	1.3	2.5
年齢別	29歳以下 (n=148)	83.1	12.2	0.0	4.7
	30歳代 (n=222)	89.6	7.2	1.8	1.4
	40歳以上 (n=26)	80.8	15.4	3.8	0.0

【子どもの数別】

		食べている	時々食べない	食べていない	無回答
全体 (N=396)		86.6	9.6	1.3	2.5
子ども数別	1人 (n=153)	85.0	10.5	1.3	3.3
	2人 (n=166)	84.9	10.8	1.8	2.4
	3人以上 (n=75)	94.7	4.0	0.0	1.3

■水・お茶以外の飲料水

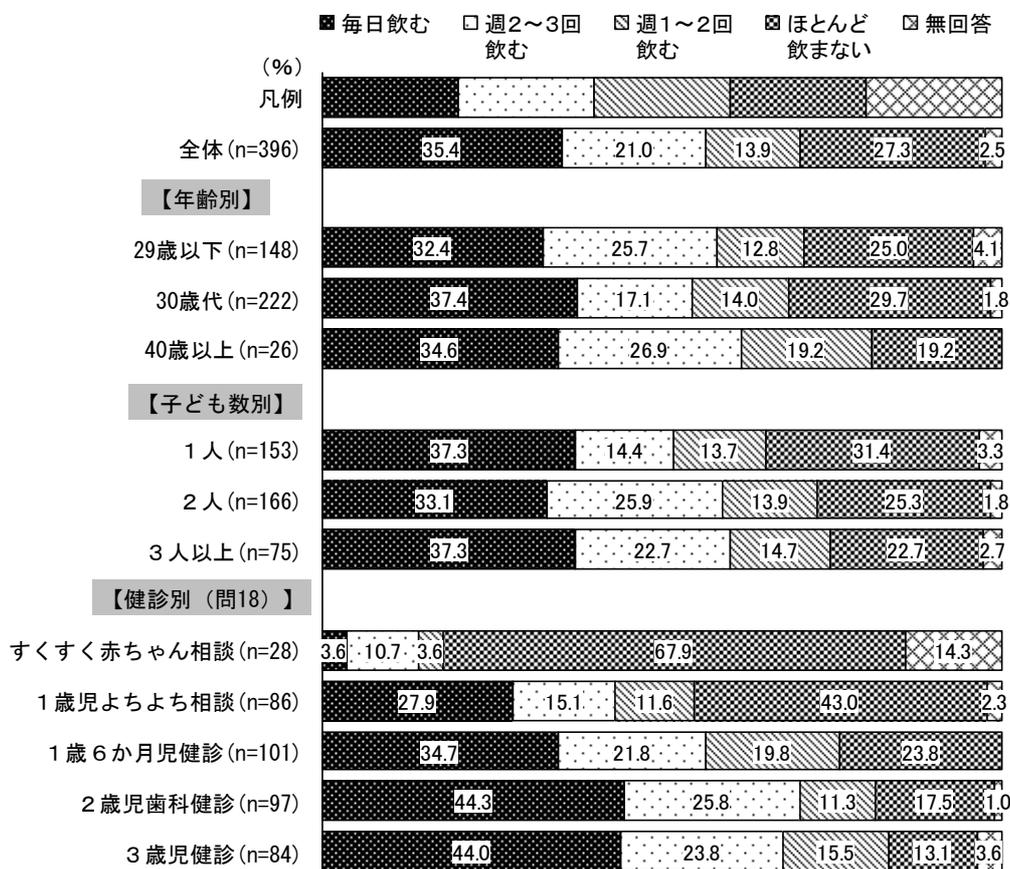
お子様は、水・お茶類以外の甘い飲み物（たとえば清涼飲料水、スポーツドリンク、缶コーヒー、栄養ドリンクなど）を飲みますか。（3～4か月児健診の方以外）

子どもの甘い飲み物の飲用状況については、「毎日飲む」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「週2～3回飲む」が 21.0%、「週1～2回飲む」が 13.9%となっており、「ほとんど飲まない」は3割近く（27.3%）みられた。

保護者の年齢別では、30歳代以下の年齢層で「ほとんど飲まない」の割合が高くなっている。

子どもの数別では、「1人」で「ほとんど飲まない」の割合が高くなっている。

当日の健診別では、2歳児歯科健診以上の層で「毎日飲む」の割合が高くなっている。



(3) 石巻市食育（学校）アンケート調査（中学2年生・小学5年生）

調査対象	石巻市内の中学2年生・小学5年生
調査時期	平成25年2月
調査項目	◇食生活について

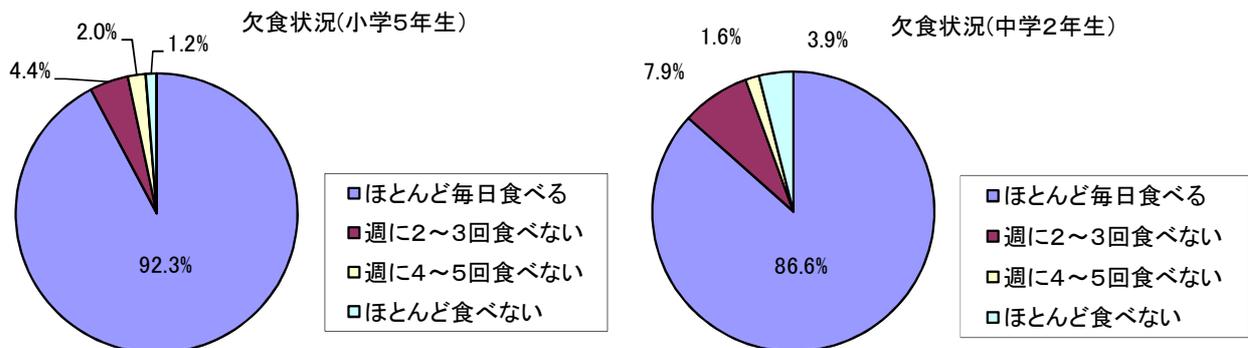
石巻市食育（学校）アンケート調査結果抜粋

食習慣

■朝食の摂取

あなたは朝食を食べていますか。

朝食の摂取状況については、小学生で92.3%、中学生で86.6%と「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっているが、小学生では7.6%、中学生では13.4%が週に何回かは朝食を抜くと回答している。



■朝食を食べない理由

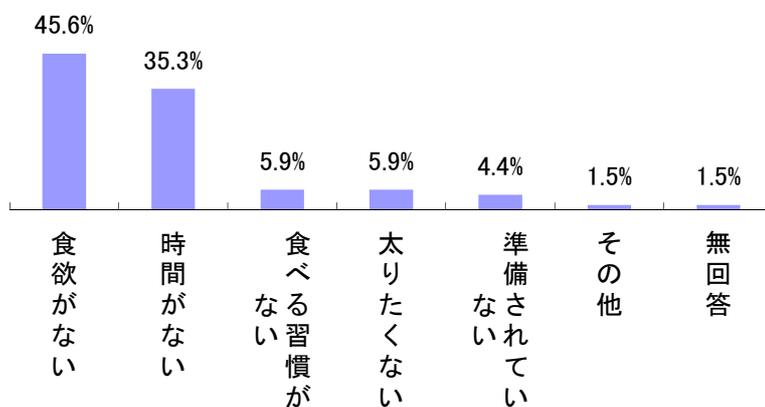
朝食を食べない理由は何ですか。(ほとんど毎日食べる方以外)

朝食を食べない理由については、小学生では「食欲がない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「時間がない」(35.3%)の順になっている。

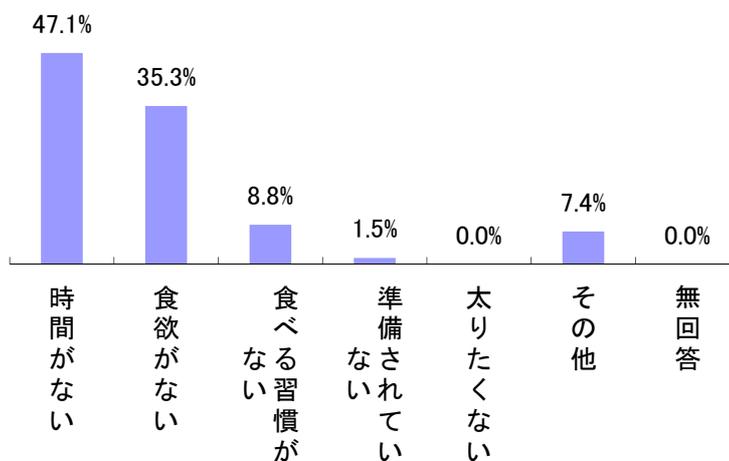
中学生では「時間がない」の割合が47.1%と最も高く、次いで「食欲がない」(35.3%)の順になっている。

1割に満たないが、「食べる習慣がない」、「準備されていない」、「太りたくない」などの回答もある。

朝食を食べない理由(小学5年生)



朝食を食べない理由(中学2年生)

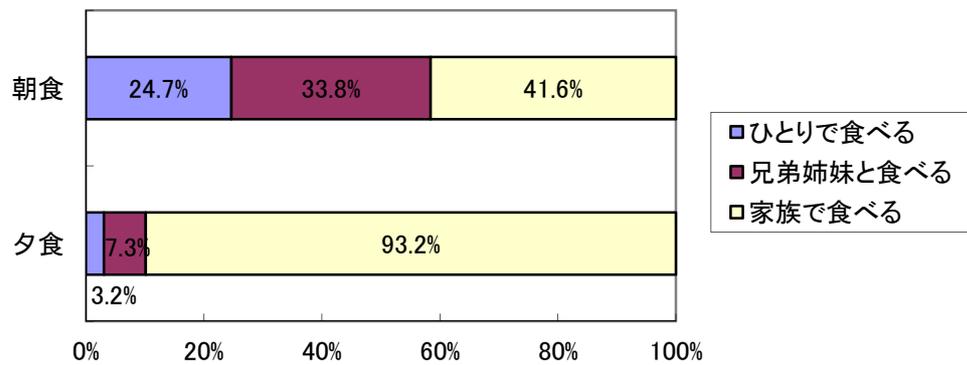


■孤食状況

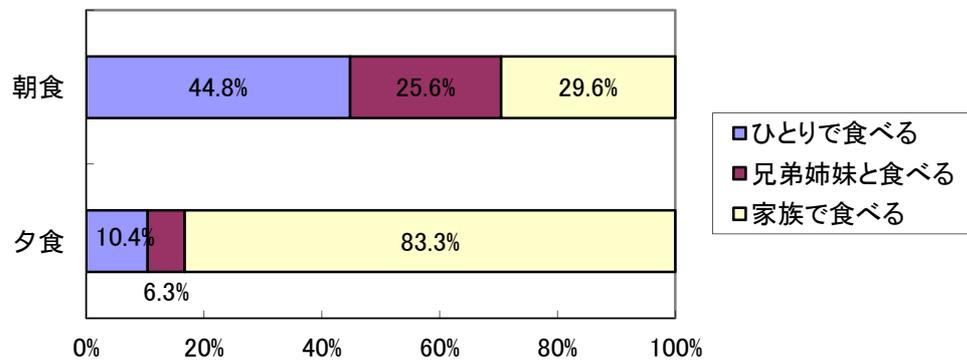
朝食・夕食をだれといっしょに食べる人が多いですか。

朝食・夕食をだれといっしょに食べる人が多いかについては、朝食では「ひとりで食べる」の割合が小学生は 24.7%、中学生は 44.8%となっている。夕食については、小学生、中学生ともに約 1 割にとどまっている。

孤食の状況(小学5年生)



孤食の状況(中学2年生)



(4) 石巻市の地域特性

①産業大分類別就業者人口

	石巻市(人)	構成比	宮城県(人)	構成比	全国(人)	構成比
総数	71,623		1,059,416		59,611,311	
A 農業, 林業	3,117	4.4%	44,698	4.2%	2,204,530	3.7%
うち農業	3,003	4.2%	43,332	4.1%	2,135,977	3.6%
B 漁業	3,165	4.4%	8,521	0.8%	176,885	0.3%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	46	0.1%	336	0.0%	22,152	0.0%
D 建設業	7,841	10.9%	94,638	8.9%	4,474,946	7.5%
E 製造業	12,963	18.1%	139,236	13.1%	9,626,184	16.1%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	538	0.8%	7,524	0.7%	284,473	0.5%
G 情報通信業	406	0.6%	22,403	2.1%	1,626,714	2.7%
H 運輸業, 郵便業	4,747	6.6%	66,644	6.3%	3,219,050	5.4%
I 卸売業, 小売業	11,965	16.7%	198,200	18.7%	9,804,290	16.4%
J 金融業, 保険業	1,422	2.0%	24,960	2.4%	1,512,975	2.5%
K 不動産業, 物品賃貸業	712	1.0%	18,820	1.8%	1,113,768	1.9%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	1,073	1.5%	29,559	2.8%	1,902,215	3.2%
M 宿泊業, 飲食サービス業	3,548	5.0%	62,059	5.9%	3,423,208	5.7%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	2,371	3.3%	38,969	3.7%	2,198,515	3.7%
O 教育, 学習支援業	2,548	3.6%	52,851	5.0%	2,635,120	4.4%
P 医療, 福祉	6,972	9.7%	106,604	10.1%	6,127,782	10.3%
Q 複合サービス事業	851	1.2%	8,370	0.8%	376,986	0.6%
R サービス業(他に分類されないもの)	3,854	5.4%	67,573	6.4%	3,405,092	5.7%
S 公務(他に分類されるものを除く)	2,151	3.0%	42,216	4.0%	2,016,128	3.4%
T 分類不能の産業	1,333	1.9%	25,235	2.4%	3,460,298	5.8%
(再掲)第1次産業(A・B)	6,282	8.8%	53,219	5.0%	2,381,415	4.0%
(再掲)第2次産業(C・D・E)	20,850	29.1%	234,210	22.1%	14,123,282	23.7%
(再掲)第3次産業(F~S)	43,158	60.3%	746,752	70.5%	39,646,316	66.5%

(資料:平成22年国勢調査)

② 農業産出額と生産農業所得

単位:千万円

年	農業産出額 合計	耕 種							
		計	米	麦・雑 穀 ・豆類	いも類	野菜	果実	工芸 農作物	その他
平成18年	1,552	1,103	716	61	5	281	2	3	35
平成23年	1,228	923	659	-	-	203	2	-	59
平成24年	1,400	1,088	769	-	-	220	2	-	96

年	畜 産						加工 農産物	生産農 業 所得	農家1 戸 当たり	耕地10 a 当たり
	計	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	その他				
平成18年	447	104	64	55	215	10	1	659	981	65
平成23年	304	72	36	43	152	-	1	-	-	-
平成24年	311	80	42	33	157	-	1	-	-	-

※平成19～22年は市町村別情報非公表

資料:東北農政局「宮城農林水産統計年報」

※金額は四捨五入がある

③ 石巻漁港水揚高の推移

年	隻数	数量(t)	金額(千万円)
平成20年	54,662	135,353	2,163
平成21年	53,276	115,065	1,528
平成22年	52,486	128,677	1,805
平成23年	14,084	27,925	436

④ 石巻魚市場魚種別水揚高数量及び金額の魚種上位順位（平成22年）

順位	1		2		3		4		5	
数量(t)	さば	34,792	かつお	23,302	その他たら	17,910	いか類	14,053	その他いわし	9,102
金額(千万円)	かつお	355	いか類	299	さば	274	ぎんざけ	150	たら	118

資料:石巻市水産課(水産物地方卸売市場管理事務所)

(5) 被災後の状況

① 東日本大震災に伴う被災農地の復旧完了面積(平成24年3月11日現在)

県・市 町	東日本大震災に伴う被災農地面積(地震発生直後)			東日本大震災に伴う被災農地の復旧完了面積			復旧完了 済 み 面積割合 ⑦=④/①×100
	①=②+③	②	③	④=⑤+⑥	⑤	⑥	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	%
全 国 (1)	24,477	21,476	3,001	8,281	5,856	2,425	33.8
東 北 (2)	21,802	20,605	1,197	5,775	4,991	784	26.5
宮 城 (3)	14,558	14,341	217	4,855	4,666	189	33.3
仙 台 市 (4)	2,121	2,115	6	180	174	6	8.5
石 巻 市 (5)	2,642	2,642	-	1,478	1,478	-	55.9
塩 竈 市 (6)	27	27	-	2	2	-	7.4
気 仙 沼 市 (7)	677	672	5	5	-	5	0.7
名 取 市 (8)	1,671	1,671	-	888	888	-	53.1
多 賀 城 市 (9)	97	97	-	97	97	-	100.0
岩 沼 市 (10)	1,248	1,248	-	506	506	-	40.5
登 米 市 (11)	43	-	43	15	-	15	34.9
栗 原 市 (12)	104	-	104	104	-	104	100.0
東 松 島 市 (13)	1,620	1,620	-	294	294	-	18.1
大 崎 市 (14)	5	-	5	5	-	5	100.0
亘 理 町 (15)	2,052	2,050	2	828	826	2	40.4
山 元 町 (16)	1,424	1,423	1	260	259	1	18.3
松 島 町 (17)	128	127	1	102	101	1	79.7
七 ヶ 浜 町 (18)	176	176	-	40	40	-	22.7
利 府 町 (19)	1	1	-	1	1	-	100.0
色 麻 町 (20)	31	-	31	31	-	31	100.0
加 美 町 (21)	17	-	17	17	-	17	100.0
涌 谷 町 (22)	2	-	2	2	-	2	100.0
女 川 町 (23)	10	10	-	-	-	-	-
南 三 陸 町 (24)	462	462	0	0	-	0	0.0
(参考)							
青 森 (25)	107	77	30	101	71	30	94.4
岩 手 (26)	1,209	725	484	269	28	241	22.2
山 形 (27)	1	-	1	1	-	1	100.0
福 島 (28)	5,927	5,462	465	549	226	323	9.3
茨 城 (29)	1,063	208	855	958	202	756	90.1
栃 木 (30)	198	-	198	194	-	194	98.0
群 馬 (31)	1	-	1	1	-	1	100.0
埼 玉 (32)	39	-	39	39	-	39	100.0
千 葉 (33)	1,162	663	499	1,162	663	499	100.0
新 潟 (34)	117	-	117	86	-	86	73.5
長 野 (35)	95	-	95	66	-	66	69.5

資料:農林水産省統計部・農村振興局「東日本大震災に伴う被災農地の復旧完了面積」

② 被災市町村別農業産出額（平成23年）

単位：1,000万円

対象市町村	計 ア+イ+ウ	耕 種					畜 産						加 工 農産物 ウ	
		小 計 ア	米	野 菜	果 実	その他 耕 種	小 計 イ	肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏		その他 畜産物
宮 城 県														
仙 台 市	556	442	243	158	3	40	115	16	51	48	x	x	-	0
石 巻 市	1,228	923	659	203	2	59	304	72	36	33	43	152	0	1
塩 竈 市	1	x	x	0	0	0	x	x	-	-	-	-	-	-
気 仙 沼 市	145	86	51	27	2	7	59	16	14	13	-	29	x	1
名 取 市	227	218	80	118	3	17	9	0	0	0	x	x	-	0
多 賀 市	37	37	23	4	0	9	-	-	-	-	-	-	-	-
岩 沼 市	89	80	44	29	1	7	9	x	7	6	-	x	-	0
東 松 島 市	258	225	117	91	1	16	32	12	14	13	x	-	x	1
亘 理 町	250	228	63	138	11	15	21	4	12	11	x	x	-	-
山 元 町	129	123	26	82	11	4	5	x	2	2	-	x	-	0
松 島 町	156	78	64	11	0	2	78	4	x	x	x	x	-	-
七 ヶ 浜 町	5	4	0	4	-	0	0	x	-	-	x	-	-	-
利 府 町	41	39	25	3	11	0	2	x	x	x	-	-	-	-
女 川 町	0	0	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
南 三 陸 町	98	39	14	10	1	13	59	22	24	22	x	12	x	0
青 森 県														
八 戸 市	1,412	578	124	263	74	117	833	50	14	14	275	489	5	1
おいらせ町	777	505	68	427	0	9	272	33	8	7	55	176	0	-
岩 手 県														
宮 古 市	162	93	31	34	10	18	69	34	6	6	x	x	1	-
大 船 渡 市	93	28	11	11	x	x	65	5	3	3	x	x	x	0
久 慈 市	746	92	31	54	2	4	654	45	81	77	93	433	0	0
陸 前 高 田 市	108	58	15	17	23	3	50	2	1	1	x	x	x	0
釜 石 市	40	19	6	10	1	1	20	5	-	-	x	x	x	0
大 槌 町	25	16	9	5	0	0	8	5	x	x	-	-	x	0
山 田 町	72	23	15	4	1	3	49	17	3	3	x	x	x	-
岩 泉 町	187	52	15	19	15	1	134	47	70	65	x	x	1	-
田 野 畑 村	155	21	2	17	2	0	134	9	22	20	x	x	x	-
普 代 村	27	8	1	6	x	x	19	x	x	x	-	x	x	0
野 田 村	168	17	3	10	2	1	151	x	x	x	x	93	x	0
洋 野 町	1,295	82	28	43	2	10	1,214	72	74	69	224	844	0	0
福 島 県														
い わ き 市	919	707	428	216	28	35	212	76	29	25	96	12	-	-
相 馬 市	682	493	137	323	22	11	189	9	21	19	16	x	x	0
新 地 町	140	120	38	57	9	16	20	-	5	4	-	x	x	0
(参考)														
茨 城 県														
日 立 市	157	122	60	45	8	9	35	35	x	x	x	-	-	-
高 萩 市	122	68	43	18	0	6	54	31	x	20	x	-	-	-
北 茨 城 市	180	115	88	17	1	9	66	65	x	x	x	-	-	-
鹿 嶋 市	429	409	119	200	0	89	20	x	x	x	19	-	-	-
神 栖 市	1,445	1,410	159	1,087	x	x	34	4	x	x	24	x	-	-
東 海 村	155	76	23	21	4	28	1	x	x	-	-	-	-	78
千 葉 県														
銚 子 市	2,360	1,592	57	1,524	0	12	767	24	79	71	154	511	-	-
旭 市	3,648	1,683	432	1,163	x	x	1,965	x	124	112	1,372	385	x	-
匝 瑛 市	1,182	573	366	177	0	24	609	38	82	74	256	233	-	...
山 武 市	1,544	1,255	317	866	x	x	289	4	126	114	130	30	-	-
横 芝 光 町	704	552	232	287	3	28	152	x	34	30	72	x	-	-

資料：農林水産省統計部『平成23年被災市町村別農業産出額』

③ 農林業センサス結果の状況確認の概要(平成24年3月11日現在)

ア 被害のあった農業集落数

単位:集落

県・市町村	1) 2010年世界農林業 センサス (平成22年2月1日現在)	被害のあった 農業集落	津波被害のあった 農業集落	津波被害以外 農業集落
	(1)	(2)	(3)	(4)
9 県 計 (1)	33,978	5,526	1,141	4,385
宮 城 県 (2)	2,797	1,565	576	989
仙 台 市 (3)	168	73	33	40
石 巻 市 (4)	278	175	162	13
塩 竈 市 (5)	17	8	8	-
気 仙 沼 市 (6)	168	118	111	7
白 石 市 (7)	90	46	-	46
名 取 市 (8)	75	32	30	2
角 田 市 (9)	96	49	-	49
多 賀 城 市 (10)	14	14	7	7
岩 沼 市 (11)	50	25	22	3
登 米 市 (12)	306	132	-	132
栗 原 市 (13)	315	151	-	151
東 松 島 市 (14)	76	76	50	26
大 崎 市 (15)	329	192	-	192
蔵 王 町 (16)	37	31	-	31
大 河 原 町 (17)	24	6	-	6
村 田 町 (18)	30	12	-	12
柴 田 町 (19)	19	7	-	7
川 崎 町 (20)	28	28	-	28
亘 理 町 (21)	70	63	44	19
山 元 町 (22)	22	22	19	3
松 島 町 (23)	36	36	9	27
七 ヶ 浜 町 (24)	9	9	9	-
利 府 町 (25)	13	13	2	11
大 和 町 (26)	46	46	-	46
大 郷 町 (27)	21	21	-	21
富 谷 町 (28)	12	12	-	12
大 衡 村 (29)	11	11	-	11
涌 谷 町 (30)	65	44	-	44
美 里 町 (31)	62	38	-	38
女 川 町 (32)	25	25	25	-
南 三 陸 町 (33)	58	50	45	5

資料:農林水産省統計部「東日本大震災による農業・漁業経営体の被災・経営再開状況」(以下ウまで同じ。)

注: 9県計は、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく特定被災地方公共団体及び特定被災地方公共団体以外で東日本大震災における津波被害のあった青森県から千葉県太平洋側に面する沿海市町村の計である(以下ウまで同じ。)

1)は、全市町村計である(以下イまで同じ。)

イ 農業経営体の被災・営農再開状況

単位：経営体

県・市町村	1) 2010年世界 農林業センサ ス(平成22年 2月1日現在)	農業被害のあった農業経営体			津波被害のあった農業経営体			津波被害 以外
		計	営農を 行っている	営農を行 っていない (不明 を含む)	計	営農を 行っている	営農を行 っていない (不明 を含む)	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
9 県 計 (1)	531,989	37,700	26,400	11,300	10,200	4,090	6,070	27,600
宮 城 県 (2)	50,741	7,290	3,950	3,340	6,060	2,740	3,320	1,230
仙 台 市 (3)	3,110	890	360	530	840	310	530	50
石 巻 市 (4)	4,257	860	410	460	850	390	460	20
塩 竈 市 (5)	21	10	-	10	10	-	10	-
気 仙 沼 市 (6)	1,480	470	120	350	450	100	350	20
白 石 市 (7)	1,534	50	50	-	-	-	-	50
名 取 市 (8)	1,371	630	370	260	590	330	260	40
角 田 市 (9)	1,948	20	20	-	-	-	-	20
多 賀 市 (10)	252	80	70	20	80	70	20	-
岩 沼 市 (11)	908	550	250	300	550	250	300	-
登 米 市 (12)	7,424	100	100	-	-	-	-	100
栗 原 市 (13)	6,961	90	90	-	-	-	-	90
東 松 島 市 (14)	1,159	710	400	310	710	400	310	0
大 崎 市 (15)	5,865	430	430	-	-	-	-	430
蔵 王 町 (16)	965	40	40	-	-	-	-	40
大 河 原 町 (17)	316	0	0	-	-	-	-	0
村 田 町 (18)	809	10	10	-	-	-	-	10
柴 田 町 (19)	565	10	10	-	-	-	-	10
川 崎 町 (20)	667	20	20	-	-	-	-	20
亘 理 町 (21)	1,315	960	590	370	850	480	370	110
山 元 町 (22)	876	670	260	410	640	250	390	30
松 島 町 (23)	390	120	110	10	90	80	10	30
七 ヶ 浜 町 (24)	90	90	-	90	90	-	90	-
利 府 町 (25)	309	0	0	-	0	0	-	0
大 和 町 (26)	695	30	30	-	-	-	-	30
大 郷 町 (27)	780	-	-	-	-	-	-	-
富 谷 町 (28)	305	0	0	-	-	-	-	0
大 衡 村 (29)	431	10	10	-	-	-	-	10
涌 谷 町 (30)	1,067	70	70	-	-	-	-	70
美 里 町 (31)	1,094	70	70	-	-	-	-	70
女 川 町 (32)	6	0	0	0	0	0	0	-
南 三 陸 町 (33)	604	310	80	230	300	80	230	10

注：統計表の数値は、農業経営体の被災状況や経営再開状況の程度(割合)を関係者から聞き取り、2010年世界農林業センサス結果に乗じて集計したものである。

ウ 営農を再開できない理由(複数回答)

単位: %

県・市町村	営農を再開できない理由(複数回答)						
	生活拠点が定まらない (原発事故の影響による場 合を除く)	耕地や施設が使用 (耕作)できない(原発 事故の影響による場合を 除く)	農機具が確 保できない	農業労働力 が足りない	営農資金に 不安がある	原発事故 の影響	その他 (病気や けが等)
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
3 県 計 (1)	9.9	28.2	13.0	2.0	11.6	73.3	1.3
宮 城 県 (2)	31.4	96.6	48.5	6.7	39.6	0.5	4.9
仙 台 市 (3)	26.1	93.6	83.0	2.9	78.3	-	-
石 巻 市 (4)	33.5	90.8	27.3	0.1	30.2	-	26.8
塩 竈 市 (5)	-	100.0	-	-	-	-	-
気 仙 沼 市 (6)	42.1	100.0	22.5	-	13.3	-	3.5
白 石 市 (7)	-	-	-	-	-	-	-
名 取 市 (8)	74.6	100.0	95.4	26.6	96.0	-	-
角 田 市 (9)	-	-	-	-	-	-	-
多 賀 城 市 (10)	67.1	100.0	100.0	67.1	100.0	-	-
岩 沼 市 (11)	50.6	100.0	100.0	39.0	100.0	-	-
登 米 市 (12)	-	-	-	-	-	-	-
栗 原 市 (13)	-	-	-	-	-	-	-
東 松 島 市 (14)	18.2	92.8	84.7	12.3	79.2	4.8	-
大 崎 市 (15)	-	-	-	-	-	-	-
蔵 王 町 (16)	-	-	-	-	-	-	-
大 河 原 町 (17)	-	-	-	-	-	-	-
村 田 町 (18)	-	-	-	-	-	-	-
柴 田 町 (19)	-	-	-	-	-	-	-
川 崎 町 (20)	-	-	-	-	-	-	-
亘 理 町 (21)	5.9	97.6	27.1	3.8	8.4	-	1.5
山 元 町 (22)	41.2	100.0	41.2	-	1.3	-	-
松 島 町 (23)	-	100.0	100.0	-	-	-	-
七 ヶ 浜 町 (24)	-	100.0	-	-	-	-	-
利 府 町 (25)	-	-	-	-	-	-	-
大 和 町 (26)	-	-	-	-	-	-	-
大 郷 町 (27)	-	-	-	-	-	-	-
富 谷 町 (28)	-	-	-	-	-	-	-
大 衡 村 (29)	-	-	-	-	-	-	-
涌 谷 町 (30)	-	-	-	-	-	-	-
美 里 町 (31)	-	-	-	-	-	-	-
女 川 町 (32)	100.0	-	-	-	-	-	-
南 三 陸 町 (33)	27.4	100.0	-	-	8.6	-	-

注: 3県計は、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく特定被災地方公共団体及び特定被災地方公共団体以外で東日本大震災における津波被害のあった岩手県から福島県の太平洋側に面する沿海市町村の計である。

④ 漁業センサス結果の状況確認の概要(平成24年3月11日現在)

ア 漁業地区数 イ 漁業経営体(養殖業を含む)の被災・再開状況

単位:漁業地区

単位:経営体

県・市町	1) 2008年漁業センサス (平成20年11月1日現在)	被害のあった漁業地区	被害のなかった漁業地区	1) 2008年漁業センサス (平成20年11月1日現在)	被害のあった経営体			被害のなかった経営体
					計	漁業経営を行っている	漁業経営を行っていない(不明を含む)	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
7 道 県 計 (1)	286	237	49	25,277	13,200	7,690	5,490	12,100
宮 城 県 (2)	57	57	-	4,006	3,990	1,660	2,330	10
仙 台 市 (3)	1	1	-	17	20	0	10	0
石 巻 市 (4)	22	22	-	1,297	1,290	660	630	10
塩 竈 市 (5)	3	3	-	127	120	120	10	0
気 仙 沼 市 (6)	8	8	-	935	940	270	670	0
名 取 市 (7)	1	1	-	31	30	10	20	0
多 賀 城 市 (8)	1	1	-	4	0	0	0	0
東 松 島 市 (9)	4	4	-	208	210	140	70	0
亘 理 町 (10)	1	1	-	36	40	10	30	0
山 元 町 (11)	1	1	-	29	30	0	30	0
松 島 町 (12)	1	1	-	104	100	90	10	0
七 ヶ 浜 町 (13)	7	7	-	183	180	30	150	0
利 府 町 (14)	1	1	-	17	20	20	0	0
女 川 町 (15)	3	3	-	390	390	110	280	0
南 三 陸 町 (16)	3	3	-	628	630	200	430	0

資料:農林水産省統計部「東日本大震災による農業・漁業経営体の被災・経営再開状況」(以下カまで同じ。)

注:1 7道県計は、東日本大震災における津波被害のあった北海道から千葉県の太平洋側に面する沿海市町村の計である(以下カまで同じ。)

2 統計表の数値は、養殖業経営体の被災状況や経営再開状況の程度(割合)を関係者から聞き取り、2008年漁業センサス結果に乗じて集計したものである(以下エまで同じ。)

1)は、沿海市町村計である(以下カまで同じ。)

ウ 養殖業経営体の被災・再開状況

単位:経営体

県・市町	1) 2008年漁業センサス (平成20年11月1日現在)	被害のあった経営体			被害のなかった経営体
		計	養殖業経営を行っている	養殖業経営を行っていない(不明を含む)	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
7 道 県 計 (1)	7,997	6,900	4,360	2,540	1,090
宮 城 県 (2)	2,624	2,590	1,170	1,420	40
仙 台 市 (3)	5	10	0	10	0
石 巻 市 (4)	788	770	380	390	20
塩 竈 市 (5)	75	80	60	20	0
気 仙 沼 市 (6)	512	500	140	360	10
名 取 市 (7)	-	-	-	-	-
多 賀 城 市 (8)	2	0	0	0	0
東 松 島 市 (9)	158	150	90	60	10
亘 理 町 (10)	5	10	0	10	0
山 元 町 (11)	-	-	-	-	-
松 島 町 (12)	100	100	90	10	0
七 ヶ 浜 町 (13)	73	70	10	60	0
利 府 町 (14)	11	10	10	0	0
女 川 町 (15)	336	340	60	280	0
南 三 陸 町 (16)	559	560	320	240	0

エ 養殖施設の被災・再開状況

(ア) かき類

単位: m²

県・市町	1) 2008年漁業センサス (平成20年11月1日現在)	被害のあった面積				被害の なかった 面積
		計	再開した	再開予定	再開して いない (不明を含む)	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
7 道 県 計 (1)	2,028,577	1,909,000	656,400	583,600	668,800	119,900
宮 城 県 (2)	1,262,048	1,232,000	279,400	430,600	521,600	30,400
仙 台 市 (3)	-	-	-	-	-	-
石 巻 市 (4)	538,486	537,000	152,500	171,200	213,300	1,500
塩 竈 市 (5)	20,600	20,600	15,900	4,710	0	0
気 仙 沼 市 (6)	144,500	144,500	25,100	52,700	66,700	0
名 取 市 (7)	-	-	-	-	-	-
多 賀 城 市 (8)	-	-	-	-	-	-
東 松 島 市 (9)	95,396	95,400	9,850	80,600	4,980	0
亘 理 町 (10)	-	-	-	-	-	-
山 元 町 (11)	-	-	-	-	-	-
松 島 町 (12)	37,025	37,000	22,200	0	14,800	0
七ヶ浜町 (13)	-	-	-	-	-	-
利 府 町 (14)	5,660	5,660	5,660	0	0	0
女 川 町 (15)	154,449	125,500	23,700	23,200	78,600	28,900
南 三 陸 町 (16)	265,932	265,900	24,500	98,300	143,200	0

(イ) わかめ類

単位: m

県・市町	1) 2008年漁業センサス (平成20年11月1日現在)	被害のあった幹縄の長さ				被害の なかった 幹縄の 長さ
		計	再開した	再開予定	再開して いない (不明を含む)	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
7 道 県 計 (1)	4,614,996	4,562,000	2,919,000	509,300	1,134,000	52,700
宮 城 県 (2)	2,237,709	2,238,000	1,661,000	272,500	303,800	0
仙 台 市 (3)	-	-	-	-	-	-
石 巻 市 (4)	586,810	586,800	538,800	10,700	37,400	0
塩 竈 市 (5)	73,700	73,700	73,700	0	0	0
気 仙 沼 市 (6)	727,992	728,000	281,900	260,200	185,900	0
名 取 市 (7)	-	-	-	-	-	-
多 賀 城 市 (8)	-	-	-	-	-	-
東 松 島 市 (9)	1,763	1,760	450	150	1,170	0
亘 理 町 (10)	-	-	-	-	-	-
山 元 町 (11)	-	-	-	-	-	-
松 島 町 (12)	-	-	-	-	-	-
七ヶ浜町 (13)	168	170	20	50	90	0
利 府 町 (14)	36,000	36,000	18,000	0	18,000	0
女 川 町 (15)	16,220	16,200	0	1,360	14,900	0
南 三 陸 町 (16)	795,056	795,100	748,700	0	46,400	0

(ウ) のり類

単位: m²

県・市町	1) 2008年漁業センサス (平成20年11月1日現在)	被害のあった面積				被害の なかった 面積
		計	再開した	再開予定	再開して いない (不明を含む)	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
7 道 県 計 (1)	5,694,012	5,685,000	2,429,000	1,716,000	1,540,000	9,210
宮 城 県 (2)	3,614,708	3,607,000	825,800	1,716,000	1,066,000	7,210
仙 台 市 (3)	57,040	57,000	0	11,400	45,600	0
石 巻 市 (4)	462,278	455,100	325,000	110,600	19,400	7,210
塩 竈 市 (5)	129,388	129,400	69,100	36,100	24,200	0
気 仙 沼 市 (6)	33	30	0	0	30	0
名 取 市 (7)	-	-	-	-	-	-
多 賀 城 市 (8)	20,776	20,800	0	20,800	0	0
東 松 島 市 (9)	910,618	910,600	198,700	453,200	258,800	0
亘 理 町 (10)	611,712	611,700	0	305,900	305,900	0
山 元 町 (11)	-	-	-	-	-	-
松 島 町 (12)	-	-	-	-	-	-
七 ヶ 浜 町 (13)	1,422,863	1,423,000	233,000	778,000	411,900	0
利 府 町 (14)	-	-	-	-	-	-
女 川 町 (15)	-	-	-	-	-	-
南 三 陸 町 (16)	-	-	-	-	-	-

オ 再開できない理由(複数回答)

(ア) 漁業経営体

単位: %

県	再開できない理由割合(複数回答)					
	計 (実数)	漁船や漁具 の確保がで きない	漁港の環境 が整わない	海中のがれき 等により操業 できない	資金面の不安 により再開 できない	その他 (病気や けが等)
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
7 道 県 計 (1)	100.0	80.2	60.1	4.4	25.5	28.8
宮 城 県 (2)	100.0	82.6	66.8	9.0	25.5	18.1

(イ) 養殖業経営体

単位: %

県	再開できない理由割合(複数回答)							
	計 (実数)	漁船や漁具 の確保がで きない	養殖施設の 確保がで きない	稚貝・稚魚 の確保がで きない	漁港の環境 が整わない	海中のがれき 等により操業 できない	資金面の不安 により再開 できない	その他 (病気や けが等)
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
7 道 県 計 (1)	100.0	82.1	70.1	11.2	46.4	4.3	27.9	15.2
宮 城 県 (2)	100.0	81.7	71.6	10.0	45.5	5.7	24.4	12.4

カ 魚市場の被災・再開状況

(ア) 被災状況

単位: 市場

県	1) 2008年漁 業センサス (平成20年11 月1日現在)	被害のあった魚市場				被害の なかった 魚市場
		計	全壊	半壊	一部損壊	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
7 道 県 計 (1)	161	87	27	14	46	74
宮 城 県 (2)	13	12	9	3	-	1

(イ) 再開状況

単位: 市場

県	被害のあった魚市場			
	計	全面再開	一部再開	再開して いない
	(1)	(2)	(3)	(4)
7 道 県 計 (1)	87	51	21	15
宮 城 県 (2)	12	1	8	3